



昭和二十六年六月二十五日發行 毎月一冊 二十五日發行



第二十號
(號八十四第計通)



第四卷
(月二十年六十和昭)

英帝國主義系列に於ける南阿聯邦

ソ聯邦に於ける國民精神總動員機構

米國國民所得の變遷

西部支那の近況概観

資料・情報

英國 英國側より觀たる獨逸の海上通商破壞戰

國民營養問題の現狀

合衆國 一九四〇年國勢調査の概観

佛國 自由フランスの植民地

ソ聯 ソ聯邦の勞働豫備軍

世界一般 太平洋地區の經濟的發達

企 畫 院

3
1

本誌記事轉載の際には豫め本院に照會の上、企畫院發行『企畫』に
 による旨を明記し且つ當該刊行物二部寄附ありたし

企 畫 院

企 畫 第四卷第十二號 目次

特 輯 記 事

英帝國主義系列に於ける南阿聯邦……………(一)

ソ聯邦に於ける國民精神總動員機構……………(二〇)

○ 機 構 略 表

第一、要 旨……………(二二)

第二、機 構……………(三三)

一、指導機關(實踐網)……………(三三)

二、指導目標……………(三七)

三、指導精神……………(三七)

四、指導幹部……………(三〇)

五、指導對象……………(三一)

六、指導方法……………(三三)

目 次……………(三三)

310

141

米國國民所得の變遷 (三五)

西部支那の近況概観 (五〇)

一、一九四一年の冬季作物 (五〇)

二、日常生活物資と物價 (五二)

三、工業製品 (五五)

四、鑛業と鑛産資源 (五五)

五、河川改良 (五八)

資料・情報

英國 英國側より觀たる獨逸の海上通商破壊戰 (六三)

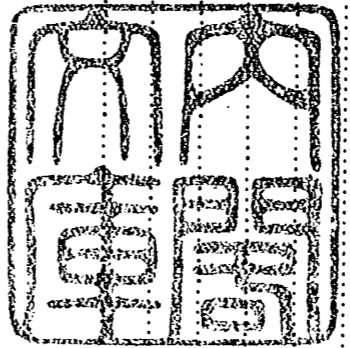
國民營養問題の現状 (六八)

合衆國 一九四〇年國勢調査の概観 (六九)

佛 國 自由フランスの植民地 (七二)

ソ 聯 ソ聯邦の労働豫備軍 (七四)

世界一般 太平洋地區の經濟的發達 (八〇)



英帝國主義系列に於ける南阿聯邦

エル・ロバートソン

南阿聯邦に於ける民族闘争の歴史的考察に關する本論文は一般に紹介せらるゝ機會少き爲め敢て此處に掲載を試みることにした。本論文が其の考察及批判の方法に於てソ聯特有のイデオロギー的枠内を出ぬものと見らるゝのは免れ難いが、すべては讀者の建設的思想に依る判断と批判とに俟つ外はない。

一九四〇年の初め、南阿聯邦最大の都市であり、産金の中心地であるヨハネスブルグに於いて、ブール人の民族主義者とスマアツ政府軍との間に流血の衝突が勃發した。數千の兵士、警官、市民が參加した此の衝突事件は二日間続いた。ヨハネスブルグの秩序回復のため他の諸都市から應援の警官並に兵營からは軍隊が急派された。警官隊は催涙ガスを用ひ、棍棒を振つた。街路には装甲自動車が疾驅し、二百名に餘る負傷者、主として兵士は病院へ送られた。

ヨハネスブルグ事件は、現大戦中に於ける南阿聯邦の内部情勢の尖鋭化の程度を示し、又、「黒い大陸」の巨大な帝國主義的掠取者の間に、如何に狂暴な闘争が行はれつゝあるかを示した。

南阿聯邦は——英國の五大自治領の一つで、帝國主義者に取つては好餌である。トランスバール州のウイトウォタースランドには世界最大の金鑛があり、英國人は此處から半世紀（一八八七年——一九三九年）の間に十八億五千萬ポンド・スタターリングの金を採掘した。南阿聯邦に於ける金の採掘量は世界第一位を占め、尨大な戦費と關聯して現在特に重要な役割を演じてゐる。

英帝國主義系列に於ける南阿聯邦

一九三九年には千二百オンス以上(九千五百五十九萬七千ポンド・スターリング)の金を産出した。これに依つて英國はアメリカに競争用具の少からざる註文をなすことができた。南阿聯邦首相スマアツが今次大戦の初期に、『聯邦人の味方して金を圍ひ取るであらう』と公言したのも強ち根柢の無いことではない。南阿聯邦の役割が、資本主義諸國の一九三九年に於ける産金總額の三二・七%、英帝國の産金總額の五七・二%を占むるに至つたことを知るならば、英帝國系列の一環としての南阿聯邦の意義が特に顯著となつて来る。

第二次資本主義戦争は、所謂ウイトウオタースランドに「ブーム」を惹起せしめた。産金を促進する爲め、スマアツ政府は既に今次大戦の初め、二度も金の値上を行つた。即ち大戦の初めに一オンスに對して一四八シリング乃至一五〇シリング、一九四〇年には最高一六八シリングの引上げを行つた。斯様に産金業關係の大資本家達は最高利潤の引上げを行つたのである。

昨年三月、トランスバールの産金業には三十七萬九千二百二十五人のバンツ族及有色人労働者、四萬六千八百五十六人の白人労働者が従事してゐた。(註・バンツ族——土語及方言を話す中央及南アフリカのニグロ金の採掘は——資本家に取つて極めて利潤のある企業である。一九三九年には例へば南阿聯邦に於ける金の採掘は、政府の統計に依れば九千五百五十九萬七千英磅で、その生産費は約五千七百萬ポンド・スターリングであつた。斯様に、利潤は殆んど四千萬英磅、即ち生産總額の四二%である。これが産金業者或は國庫に入り、國家は金鑛の巨大な支配者であり、税金として利潤の一部を徴収してゐるのである。

然し、英帝國に取つて利益のあるのは金ばかりではない。即ち新興國家の工業の増大が戦時中の現在、特に大きな

役割を演じてゐる。南阿聯邦——之はアフリカ大陸中最も工業化された部分である。金採掘の發展と關聯して、茲では大規模の爆薬工場が出現した。其の他南アフリカの工業は榴彈、爆彈、彈藥筒、大砲、白砲、装甲車等を含む凡ゆる軍除輸送具を生産してゐる。南阿聯邦は、又、近東の英軍に兵器のみならず靴、被服、罐詰、堅パン及其の他の食料品をも供給してゐる。最近ギリシヤに居る英軍は、南阿聯邦から被服及軍需資材の供給を受けたと報ぜられた。

金及ダイヤモンドの他に、南阿聯邦は豊富な埋藏資源にも恵まれてゐる。即ち鐵鑛、石炭、銅、クロム、錫、鉛、銀、プラチナ、鋼玉、アスベストなどが之である。又、動植物も豊富である、農業に於いては亞熱帯に馴致する凡ゆる種類の農作物が耕作されてゐる、例へば小麦、玉蜀黍、砂糖黍、茶、棉花、果物、葡萄などである。又畜産業も廣く行はれてゐる。

南阿聯邦が軍事的に極めて重要なのは、周圍にはインド、近東及極東方面への所謂豫備航路が通じてゐるからである。斯く、南阿聯邦に於ける各種資材と人的富源は英帝國主義に對して大規模の戦争課題を提起すべき可能性を與へてゐる。

一九一四年——一九一八年の第一次帝國主義戦争當時、南阿聯邦に於いては十四萬六千五百人の白人、八萬三千人のニグロ・バンツ族、二千人の黄色人が動員された。此の軍隊は一九一四年の秋、ブール人の叛亂を鎮壓し、南西アフリカ及東アフリカに於けるカイゼル・ドイツの軍勢力に重壓を加へ、威羅巴及近東に於ける英軍に参加したのであつた。而して其の中の七千名は戦死し、一萬四千以上の負傷者と行方不明者を出した。

一九二三年のロンドン協定によつて、南阿聯邦政府は英海軍根據地たるケープタウンの南方シモンスタウンを義務

英帝國主義系列に於ける南阿聯邦

的に防護しなければならなかつた。その他、南阿聯邦は攻撃されうべき南阿防護の義務を負はされたのであつた。此の協定に於いては南阿聯邦の防護を意味したばかりでなく、ローデシヤ、南西アフリカ、タンガニイカ等の防護をも意味したのである。

南阿聯邦政府の主席スマアツ將軍は、最近南阿聯邦の國境防護線がエチオピア及ソマリランドに連つてゐることを聲明した。南阿聯邦の軍隊は十三萬七千名にされた。アフリカ人は英帝國主義者の命令に依つて、エチオピア及ソマリランドに於いて闘つてゐる。南アフリカの空軍は、當該地域に於いて戦闘飛行をなし、海軍は英國艦隊の戦闘に参加してゐる。

次に南阿聯邦の戦費が老大に増加したことが見られる。即ち一九三九年——一九四〇年の六百萬英鎊から、一九四〇年末には四千六百萬英鎊に増大した、之は一九一四年——一九一八年に於ける總戦費七百萬英鎊を遙かに超過したことを示すのである。

英帝國主義は尙も確實に南阿聯邦をその手中に握つてゐる。一九三一年のウェストミンスター條令に依ると、南阿聯邦は「統治権を有する獨立國家」である。英帝國主義の代辯者は、労働黨の領袖と密接に提携して、絶えず悪名高き南阿聯邦の「獨立性」に就いて辯じ立てゝゐるが、之は虚構に過ぎない。南阿聯邦政府は實質的には内政問題のみを解決したに過ぎない。

然し、そこにも獨立的なものは無い、即ち實際には内政も亦英國の資本に依つて左右されてゐる。南阿に於ける現在の主人公は所謂鑛業組合(當該地方に於ける鑛山主の最大組織機關)である。「獨立的」なことも南阿政府は鑛業組

合の意志に忠實に従つて遂行してゐる。これに唯々諸々として従つてゐるのはスマアツの率ゐる「統一黨」、スタルラードを首班とする「自治領黨」、労働黨の指導部たる「アフリカ民族會議」及其の他多數の民族機關の反動的な指導者達である。

政府側にゐるのは右の鑛業組合の乾兒だけである。即ち政策に對する反對者全部は鑛山主より成る與黨に依つて排斥され南阿聯邦政府には戦争當初から英帝國主義に對して極めて忠實な「統一黨」「自治領黨」及「労働黨」の代表者がゐるのである。

軍事的に有利な人的物的資源が豊富な關係上、前世紀の終りから帝國主義的侵略者間に南アフリカ占有の血塗らな闘争が行はれて來た。此の闘争は先づ第一に英國及獨逸の帝國主義國家間に行はれた。既に一八八四年——一八八五年に、南西及東部アフリカを掠取したカイゼル獨逸に替へ、英國は前世紀の近々二十五年間に南アフリカに於ける膨脹速度を促進した、即ち南阿戦争後の一八八九年——一九〇二年の間にブル共和国——トランスバール及オレンヂ州の占有を確保したのが之である。

しかし、獨逸帝國主義は南阿聯邦と直接境を接してゐる南西アフリカ及東アフリカに於いても勢力を扶植し、毫もその勢力を南部に擴大する野望を捨てなかつた、獨逸はかゝる目的を以て執拗なブル人の解放闘争を利用しようとした。斯様に獨逸ウイヘルムは前世紀の九十年代にブル人を支持する約束をして、その反英運動を煽動した。然るに南阿戦争當時、ウイヘルムは支那及サモアに於いて英國から受取つた若干の利権に隨喜し、誓約を破つて英國側に味方したのである。當時ブル人のトランスバール共和国大統領であつた高齢のクリュゲルが、ブル人支持の

英帝國主義系列に於ける南阿聯邦

輿論を喚起するため歐羅巴諸國を訪れたが、時の獨逸政府は之を採上げなかつた位である。

六

其の後、英帝國主義と獨逸帝國主義の闘争が再燃した。しかし、一九一八年獨逸敗退後は獨逸帝國主義も同時に凋落し、最近十ヶ年だけの間、此の「黒い大陸」のために獨逸と英國間に闘争が非常な勢で熾烈化したのは近々數年間のことに過ぎなす。

此の闘争は二つの帝國主義陣營に於ける南阿支配者グループの分派に之を反映した、即ち親英派及親獨逸派の分派が之である。南阿聯邦に於いて獨立的政策を行ふ能力のあるブル人中のブルジョアの要素は重要な政治的勢力ではない。何となれば、被壓迫民族の、増大する反帝國主義運動に對する恐怖が、ブル人中のブルジョアの分子を帝國主義者側の味方としてゐるからである。

ブル族は帝國主義者の闘争上、極めて大きな役割を演じた。南阿聯邦には約百十二萬一千人のブル人(註一)、七十八萬三千人の英國人、其の他の白人七萬五千人がゐる。

註一、ブル(英語のブリア、オランダ語ではBoorと言ひ)農民の意——既に十七世紀に南アフリカに移住したオランダの移民で、彼等は今日では南アフリカの土着人であり、全くアフリカと運命を共にせんとして居り、自らアフリカナールと稱してゐる。

アフリカ・ブル人——は自分達の獨立を確保するための闘争を百年以上も繼續してゐる。傲慢な自由を愛する民族である。一八三六年——一八四〇年に、彼等はナボレオン戦争の時南アフリカに定着した英國人の羈絆を逃れて、ケープ地方から大規模の移住を完了した。

ブル族は英國人との闘争に於いて、遂に一八五二年にはトランスバール共和國の獨立に引續き、一八五四年には

オレンヂ共和國の獨立を達成した。英國は一八七七年にトランスバールを掠取した、然しトランスバールのブル族は一八八一年に再びその獨立を取戻した。一八九九年——一九〇二年にトランスバールのブル人及オレンヂ自由國家のブル人は、南アフリカの重要區域を掠取しようとする英帝國主義の新政策に反抗して死物狂に闘争した。

闘士として起上つた者は六萬人を超えなかつたが、二ヶ年半に亘り四十萬の兵士と十萬人の土人より成る英國軍を撃退した。一九一四年の秋再び英帝國主義の壓迫からの解放運動が起つた。百年に亘る解放運動の傳統は、新しい戦功に對するブル族を鼓舞した。

しかし、時日の経過に伴ひブル族を根本的に替へて了つた。獨占資本主義の發達は、激烈な階級的分化を行はしめるに至つた。大資本家及大地主の所有の幾部分が分割された。而して彼等は英國大資本家と共に、都市及農村に於ける生産の主要手段を有し、且つ南阿聯邦の勤勞者及被壓迫階級を少からず搾取してゐるのである。搾取者の少數の者はプロレタリア及半プロレタリアより成る多數の軍隊に對抗してゐる。二十萬人の南アフリカ白人のうち大部分はブル人であつて、金鑛地及其他工業部門に働いてゐる。それよりも更に多いのは所謂「白人貧民」と稱せられる零落した嘗ての農民、主としてブル人である。即ちその數は四十萬乃至五十萬人である。しかも十萬人の農民中の大多數は財政資本の奴隸になつてゐる。負債と税金の重荷が農民を苦しめ、彼等を破産させ延いては「白人貧民」を多數加へてゐるのである。帝國主義並に資本主義の全面的な危機狀況にあるブル人のかゝる階級的分化作用は、嘗て南阿戦争時代に獨立の爲めの闘争の指導者であつた支配階級をして、自らの民族を賣らしめ、且つ外國の帝國主義陣營に移任せしめるに至つたのである。

英帝國主義系列に於ける南阿聯邦

七

スマアツを首領とする大地主、大資本家のうちの「一部少数の者は、南阿に於ける巨大な富を搾取するに當つて、その割前を受取るべく努力しながら、英國の財政的寡頭政治家の鼻息を窺つた。ブール人の富貴階級は獨逸の資本に依存し或は獨逸の羊毛市場と聯繫してゐるのが認められる。

ブール人資本家及地主が帝國主義陣營へ移行した過程は、七百六十萬から成るニグロ・バンツ族、印度人、及有色人即ち南阿聯邦人口の壓倒的多數を占めてゐる諸民族の解放闘争の進展に依つても促進された。

ブール民族の階級分化と共に、ブール人は英國人と同化するに至つた。ブール人資本家、地主、勤務員及農民は事業上の關係や、血縁上の關係から大部分はイギリス人に同化したのである。最も同化數の少なかつたのは都會から遠く隔絶せる農業地方に住む農民であつた。ヨハネスブルグ、ケープタウンの如き大都市に於いてはブール人は最も多く英國人に同化した。

英國人とブール人の協力を主張する同化分子は、南阿聯邦に於ける國家活動に大きな役割を演じてゐる。しかも、南阿聯邦の首長には一九一〇年の創始當初から常にブール人が立つてゐる。即ちボータは一九一〇年から其の死（一九一九年）迄首相であつたし、スマアツは一九一九年から一九二四年迄の首相、またゲルツォグは一九二四年から一九三九年迄首相の地位にあり、一九三九年再びスマアツが首相に就任今日に至つてゐる。

更に、南阿聯邦には所謂「國粹黨」があり、その領袖はメイランとピロウである。此の政黨は反英闘争に於いて、農民、小市民、勞働者特に絶望状態に在る「白人貧民」のブール人の廣汎な勤勞大衆に働きかけてゐる。此の産業豫備軍は破滅に瀕した貧窮の農民で、自らの仕事に有りつくこともできない。工業關係企業では彼等に何等の熟練技術も無

いので之を採用しようとしなない。一方、熟練を要せぬ仕事は彼等自ら拒否するといふ状態である。何となれば白人の考へてゐる斯かる賃銀の安い仕事は、賃銀を自當てに働かうとしてゐるニグロだけに適してゐる程度の單純な仕事だからである。國粹主義はこの事實を知悉しながら「白人貧民」を煽動してゐる。國粹黨は「白人貧民」に自由、獨立、土地、金銀——等聯邦内の凡ゆるお伽話の富源を興へると約束してゐる、又、國粹黨の人々はブール人勤勞者の誇つてゐるやうな傳統的國民解放闘争を投機的に利用してゐるのである。國粹主義者は實際には手のつけられぬ反動主義である。彼等は最も反動的な反内政、パンツ、インド人及有色人の隔離（セグレガツィヤ）^{註一}政策、現在享有してゐる少數の權利及自由剝奪政策等を指導してゐるのである。

註一、セグレガツィヤ——住所、政治生活別に區別する方法で、つまり勞働及生活の凡ゆる領域に互り白人を土着人と區別し、白人に比較して土着人の生活水準を引下げることである。

國粹黨の各派は何れも、被壓迫民族並にブール人、英國人勤勞階級の凡ゆる進歩的な組織を嫌惡し、共產黨の禁止、進歩的職業組合、民主主義的組織の解散を要求してゐる。

國粹主義者は、ブール人の南アフリカ共和國宣言に關する空想を描いてゐるが、該問題に就いては彼等の間にも根深い異論がある。

ピロウ、ストレイド、ロウ、バンネル・メルヴェ等を領袖とする極端主義者のグループの間には、反英熱が極めて熾烈で、英帝國から即刻分離して南アフリカ共和國の建設を要求してゐる。此の目的を達成する爲めに、武裝蜂起をも含む凡ゆる手段を奨めてゐる。此のグループは南阿に於ける英人の權利に對しては、彼等を「外國人」として之を監

英帝國主義系列に於ける南阿聯邦

視し、それに幾分反対してゐる程度であるが、ニグロ、パンツ、印度人及有色人に對しては極端な敵意を示してゐるのである。

極端派の理想としては、獨裁的精神に立脚する「キリスト教國粹主義的共和國」の建設である。而して權利と自由を未だ幾分持つてゐる土人を無くし、労働者、農民乃至は被壓迫階級の凡ゆる進歩的な組織の廢棄を考へてゐる。

此の共和國の如何なるものであるかは、一九四〇年六月、古い大學の町ステレンボッシュに於いてブル人に依つて行はれた非歐羅巴人排撃の暴動を以ても明らかだ。スマアツ政府はこれら無頼の徒に對して何等鎮壓手段を講じなかつた、然し、その代り政府は、ケープトウン及其の他諸都市に於いて組織された非歐羅巴人に依る集會を禁止した。

極端派の勢力下に半軍事的團體「オッセヴァ・ブランドウアグ」が同様にブル人の「偉大な發足」の百年記念祭に當る一九三八年に組織された。ピロウは此の團體のメンバーを國粹主義者の「突撃隊」と稱へてゐる。

國粹派の極端派の他に、更に「温健派」と呼ばれる一派もある。その首領はマランである。此の一派の人々も矢張り英國から分離して南アフリカ共和國の建設運動をしてゐると言ふものの、武器を執つての闘争には反対し、議會に於いて多數を占めるといふ立憲的方法を主張してゐる。彼等は英人に文化及言語の領域に於ける若干の權利を許すことを提言して、極端派の如くに英人に敵意を示してゐない。その代りパンツ、印度人及有色人に對しては、極端派と同程度の敵意を示してゐる、即ち獨裁的制度に共鳴しながら、「温健派」の人々は此の事實を國民にかくしてゐるのである。

ゲルツオグ、ガウエンング其他を首領とするブル人中の第三グループは、建設の時期は確言してゐないが、矢張り南アフリカ共和國の建設運動を行つてゐる、此の一派の傾向はマランのグループの如く、暴力闘争に反対し立憲的手段を採つてゐるが、相違點は將來のブル人共和國に於いては英人に同等の權利を認め、ブル人と英人の提携協力といふ點である。

ゲルツオグ將軍が南ア聯邦首相に就任してゐた十五ヶ年（一九二四年—一九三九年）の間に、その反土人政策が充分實證された。此の間ゲルツオグは熟練労働者（資格證明を有する）を以て土人の權利を剝奪する「有色防塞」に関する法律を發布した。即ち彼は土人から選舉權を剝奪し、^(註一)農場に於いて働く期間を延長し且つセグレガーツイヤ（隔離政策）を強化した。

註一、一九二三年の土地法はニグロの土地買収を禁止した。ニグロは白人の土地を借りるだけが可能であり、その際に土地利用に對して只労働に依つて支拂ふことができるだけである。一九三七年の法律は労働時間に関するもので、即ち九十日の二倍、一ヶ年に百八十日に増加された。

これらのグループは總べて、資本主義並に帝國主義に反抗し、獨立を獲得するための闘士の假面を被り、煽動的運動を續けてゐるが實際には最も反動的な政策を指導してゐるのである。

今次大戰の當初、國粹主義者はその勢力を一時強化することができた。當時、英國の新聞はスマアツ將軍が英人だけ、即ち南ア聯邦に居住する白人の半數以下だけを支持してゐると書いた。ゲルツオグを首領とする議員のグループは一九三九年九月、スマアツの「統一黨」から脱黨し、一九四〇年の前半期にマランの「國粹黨」に加盟した。

しかし、その時から若干の變化が起つた。即ち多くの人々は國粹主義者を支持しなくなつたのである。このことは

英帝國主義系列に於ける南ア聯邦

一九四〇年の前半期の選挙運動に於いて初めて明かにされた。また斯様な事實もあつた、即ち國粹黨の創意に依りスマアツ黨に所謂和平款願書が手交されたのである。國粹主義者は十四萬八千人の款願者の署名を集めた。スマアツ黨は殆んど三倍の署名を集めて「勝利後の平和」の反款願を以て之に應へたのである。

ブール人の一部が「國粹」運動から離れ、スマアツを支持してゐることが明かとなつた。之はゲルツオグ將軍を鼓舞してゐるグループが一九四〇年一月に國粹黨から脱黨した主要原因もある。一九四一年の初め此のグループは「アフリカー」黨なる新政黨を作つたのである。

X

X

X

南阿聯邦に於ける人口の基本を成してゐる大衆は被壓迫民族である。即ち約六百六十萬のニグロ・パンツ、七十七萬の有色(混血の土着民)、二十二萬を算へる印度族である人口の大多數を占むる憫れな階級は、英人及ブール人ブルジョア階級に取つては、賃銀の爲めに困難な労働に従事する安價な勞力の供給源となつてゐる。

金礦地に於ける土人は一日平均三シリング(彼等の住む雜居住宅で給與される食費を含む)を支給されてゐる。然るに白人労働者は一日平均二十四—二十五シリングを給與されてゐる。

極めて大多數の土人農民は、殆んど土地を所有してゐないので、富農或は白人の農家に於いて働かなければならぬ、白人の所有する牧場を使用し得る土人は、僅かばかりの土地に於いて、黍及玉蜀黍を耕作するために自分達の家族を安い賃銀を以て日傭取りさせなければならぬ。

南アフリカに在る白人は二百萬に過ぎない、然し白人には一億モルゲン土地があり、而して約千四百モルゲンだ

けが殆んど八百萬人に垂んとする白人以外の人種に屬してゐるのである。

しかも、白人のみが土地購入の権利を有し、パンツ、印度人及混血人には其の権利が無い。彼等は又一般的に最も基礎的な市民権たる選挙権さへも剝奪された。土人に對するパスポート(旅行免許)制度は、夜間十時以後の街頭の通行を禁じ、隣接部落の知人訪問や特別の許可無くして仕事を求めに町に出ることが禁止されてゐる。都市に於いてはパンツ、印度人及土着民は白人住宅地から隔離した特別の部落や住居に住まなければならぬ。汽車及電車の場合には、土人の爲めに特殊車輛に依つて區別されてゐる。南阿聯邦に於ける民族の差別的壓迫は、凡ゆる生活の細部に互つてゐる。即ち白人が道路上で出會ふと勝手に人道から土人を車道に追拂ふことができる、又、土人には白人の使用する電話の使用竝に白人用に定められた出札所では郵便切手、列車の切符の購入も禁止されてゐるのである。

かやうに、嘲弄されてゐる彼等土人も、劫略者との鬭争に於いてはブール人以上に自由を愛することを證明したのである。ニグロ・パンツは立派な闘士である。吾々は一八七九年に英人に反抗した南阿のブール人の鬭争に於いてエンゲルスの記述を思ひ出すのである。

一九〇六年に勇敢なブール人は再び蜂起した、彼等は手に手に武器を執り土地劫略、種族の指導者の剝滅、法外な税金等に抗して闘つた。南アフリカの周邊から暴徒鎮壓のため軍隊が派遣されたので、英雄的なブール族もこれら英軍の數と技術(機械力)に屈せざるを得なかつたのである。

南アフリカに於ける植民地民族の反帝國主義運動の發展には盛衰期が見られる。此の運動が特に熾烈だつたのは十九世紀の終りであつた。其の後一九〇六年のブール人の蜂起、一九二二年—一九一四年のそれと、第一次大戦の

英帝國主義系列に於ける南阿聯邦

終末、またその直後であつた。

資本主義の發達及帝國主義的壓迫の強化は、南アフリカの各種々族間に非常な社會的變革を齎らし、且つ種族間の組織の分解作用を招來した。その組織の間には工業及農業労働者が現はれたのである。農民は採集禁止區域に^(註一)追込まれ、又は自分達の狹隘なる土地に辛うじて生計を維持しなければならなかつた、即ち貧困は免れなかつたのである。

註一、レゼルヴァイト(採集禁止區域)——帝國主義者土着民を迫込んだ特殊區域

斯くして各種族間の連絡が弱体化され、種族の指導者達は劫略者に對する鬭争の先頭に立つ前に、その大多數の者は、帝國主義者の意志を従順に遂行する武器になつて了つたのである。バンツ族中には資本主義的階級に較れてゐるものがあり、それは大體に於いて祖國の劫略者と鬭争せぬばかりでなく、寧ろ帝國主義者との協調に努めてゐるのである。

南阿聯邦に於ける民族解放鬭争の力を左右してゐるのは、今日では土人のプロレタリア及半プロレタリアである。之に依つて民族解放運動の中心は都市、工業地方、金鑛地のあるランド、グーバン及ケープタウン等である。

労働者は反帝國主義運動の指導者となつた。南阿聯邦に於ける此の運動は第二次大戦の間に活潑化してゐる。「民族解放聯盟」の代表者の言に従へば、「隔離政策と饑餓的な低賃銀を以てしては土着民の防塞と鬭ふために非ヨーロッパ人から何物も期待できない」此の聯盟は主として有色人種より成る比較的新しい團體である。而して其の資料によると一九三八年の終りに八千人の加盟者と約三萬五千人の共鳴者のあることが判明した。

該聯盟は、南アフリカに於ける全被壓迫並に被搾取植民地民族の統一戦線に於ける前衛でもある。該聯盟の主唱す

るところに依ると、大戦勃發當初には未だバンツ族、印度人及有色土人の反帝國主義的分子の統一の問題を提起する、非ヨーロッパ人の前衛的「委員會」が組織されたに過ぎなかつた。

非歐洲人より成る同委員會の計畫は、南アフリカに於ける被壓迫民族喫緊の要求に歸するのである。即ち非歐洲人に對して同等の權利を與へること、彼等に對する労働と生活の人道的條件の創造、労働組合の許可、「反土着民法律」の撤回、白人労働者優遇の拒否等である。非歐洲人唯一の斯かる委員會の計畫に依りその勢力は迅速に擴大し今や之が反帝國主義運動の中心となつてゐる。

一九四〇年三月、ロデシア政府當局(南阿聯邦に隣接せる英國植民地)は、銅山及其他の鑛山に於ける鑛夫の同盟罷業参加者を射撃し、またスマアツ政府は制裁を早める爲めに催涙ガスを積載せる飛行機を派遣した。非歐洲人統一戦線委員會は同盟罷業者との相互扶助運動の先頭に立ち、射撃者に對して抗議し、同盟罷業者及射撃された遺家族に對する救済金の方法を講じた。

スタレンボッシュに於いて「國粹主義者」が非歐洲人の掠奪を行つた時、委員會の代表は「國粹主義者」の掠奪を即時停止し、掠奪者を嚴罰に處すべきことを要求する電報をスマアツ首相宛に發した。「國粹主義者」は政治的にはスマアツの反對黨であると思はれてゐるとは言へ、彼に反對する何等の方策を取らなかつたばかりでなく、ケープタウンに於ける抗議の集會をさへも禁止した。これは明かにスマアツ黨の反土着民政策が、實質的には掠奪的「國粹主義者」と何等異ならぬことを示したと見るべきである。

一九四〇年八月、ケープタウンに於いて召集された非歐洲人統一戦線委員會會議では、スマアツ政府のかやうな方
英帝國主義系列に於ける南阿聯邦

面に對する辛辣な批判を浴び、民主主義の敵に對する勝利は、非歐洲人に完全な民主主義的權利を供與する方法に依つてのみ可能なることを示した。

パンツ族の國粹的解放運動に於いて少からざる役割を演じてゐるのは——既に一九二二年の創立に成るアフリカ國粹會議である。同會議の領袖となつてゐるのは雜種の反動的指導及土着民のブルジョアであるが、その中には又パンツ大衆の行動的志氣と反帝國主義運動の熾烈化を反映してゐる進歩的一派もある。進歩派の中心は——トランスバルである。

南阿聯邦の反帝國主義運動に於いては、主としてナタール及ヨハネスブルグに永住してゐる印度人も亦積極的に參加してゐる。

諸新聞の頁に小さく掲載されたことによつてもこの運動の熾烈化を知ることができる。該運動の根本的缺陷は——その分裂、猜疑、南阿の各被壓迫民族間の反目でさへもある。この不和は支配階級に依つて支持されてゐる。白人中には、特にブール人の間には凡ゆる非歐洲人、主として第一にパンツ族に對して人種的偏見が根深く、輕蔑の念を以てゐる。

かゝる気分は富農の「國粹主義者」、その他の反動主義者の間に瀰漫してゐる。帝國主義及其の代辯者は斯様な方法を以て白人労働者特にブール人と全南阿植民地人民の廣汎な統一戦線達成の豫防に努めてゐるのである。

南アフリカの歴史は、明瞭にかゝる統一戦線の強大なる力を示した。例へばブール人は一八五二年に其の共和國をトランスバルに建てることのできた。何となればバスウト(パンツ族中の一民族)がブール人と條約を締結し、彼等

に積極的な支持を示した。ブール人及バスウト族は總力を擧げて英人をして平和協定の締結交渉をさせるの餘儀なきに至らしめた。それは一八五三年に調印された。英國は斯くしてトランスバル共和国の獨立を認め、それ以來南阿共和国と稱されるに至つた。二年の後英國はオレンヂ共和国の獨立をも承認した。之に對してはブール人は同様に、ベリア戰爭に際して英軍を徹底的に撃破したバスウト側からも支持されなければならなかつた。結局、英國は一八五四年にオレンヂ河地方に於けるブール人に對する獨立を保證するブルムフォンタイン條約を締結しなければならなかつた。

三十年後に歴史は再び繰り返へされた。即ち一八七七年にトランスバルはその獨立を失ひ、再び英國の勢力下に陥ちた。しかし一八八一年にはブール人はマヂウベに於いて英國人を粉碎し、その共和國を復活した、何となれば、同時に英國の侵略軍に抗して英雄的に闘つたからである。

一八九九年——一九〇二年に互るアングロ・ブール(南阿)戰爭の主要原因の一つは、ブール人に對する支持が無かつたことだ。ブール人は二ヶ年半に互り勇戦奮闘を続けながらも彼等が敗北を忍ばなければならなかつたのは英軍が量的に多かつたばかりでなく彼等英人の反土着民政策にも原因したのである。帝國主義者は又、ブール人の間に反土着民運動を醸成すべく努力してゐる、一方、土着民の中には反ブール氣運が瀰漫し彼等はお互ひに煽動し合つてゐる状態である。此のことは一九二二年のランドに於けるブール人鑛夫の蜂起が明らかに物語つてゐる。即ち一九二二年一月に二萬人以上のブール人鑛夫が總罷業に入り、同三月には武装蜂起にまで發展した、而して土着民鑛夫も罷業に合流するばかりになつて居た。しかし、反動主義者の妨礙に依つてブール人は土着民の支持が得られず孤立してつ

た。その後反動主義者連中は恰も土着民鏹夫が武装蜂起したかの如く宣傳したのであつた。かやうに、事態は反目の絶滅と全反帝國主義勢力を打つて一丸とする戦線統一の必要を示してゐることは自ら明らかである。かゝる統一戦線を組織することは國の經濟的・政治的・生活に於いて既に大きな役割を多く演じてゐる南阿聯邦の労働階級にのみ可能なのである。

南阿聯邦には約百五十萬人の各種民族より成る労働者がゐる。即ちニグロ、ブール、英人、印度人、有色(土)人などが之である。特に壓倒的多数を占めてゐるのは最悪の條件に置かれてゐるブール系「白人貧民」である。戦争は更に彼等の生活状況を悪化せしめた。大戦勃發當初から一九四〇年の夏迄に、生活費が最少限一五%高くなつた。此の間、産金工業の資本家に對する税金は僅かの引上げであつたにも拘らず、大衆に對する税金は殆んど二倍にされたのである。

労働者の間に賃銀引上げ運動が展開されてゐる。市街鐵道従業員、商店員、建築労働者、煙草工場労働者、化學工場労働者、菓子工場労働者等の労働組合は賃銀引上げを要求してゐる。

一九四〇年夏、ヨハネスブルグに於いて煙草工場従業員の罷業が勃發し、賃銀値上げが要求された。之に倣つて一九四〇年九月末にはルウステンブルグの煙草工場従業員も罷業した。煙草労働組合の首領イヨハン・コルネリウスの指導の下に、主として煙草工場の女工が罷業に入り、闘争は激烈なものであつた。工場主達は警官隊の應援を得た。警官は催涙ガスを用ゐる罷業の指導者たるイヨハン・コルネリウス及其他の者を捕縛した。結局、罷業者は其の目的を達した、即ち賃銀は値上げされイヨハン・コルネリウスは釋放された。

ルウステンブルグに於ける罷業は、これに主としてブール人が参加したことに意義がある。而して有産階級はブール人に對し彼等が優先的な状態に在ることを常に示唆してゐるのである。しかし、搾取に反抗する闘争を試みた時には、スマアツ政府は、ブール人を一九四〇年春ローデシヤの銅山に於いて罷業してゐた土着民鏹夫と同様に取扱ひ、鎮壓のため催涙ガスを積載せる飛行機を同地へ急派した。

土着民の労働運動の組織力が強化されるに至つた。鑛業關係の一つのみでも約四十五萬人の土着人と有色人が居り、加工工業では十六萬三千人、鐵道運輸關係では六萬人を算へてゐるのである。彼等は今日迄半端に活動して居た、といふのは反動的労働組合の指導が彼等を結合させるか、或は人種的先入主を培養した白人種労働組合を實際に應用し、土着人に對して輕蔑を増長させたからである。

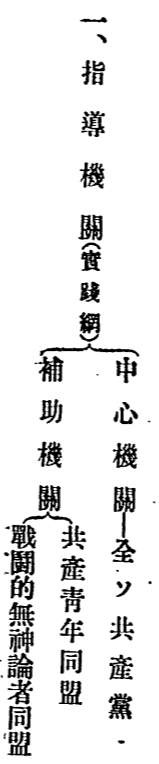
土着人は自分達だけの労働組合を組織するに至つた。非ヨーロッパ人労働者の労働組合組織は急速に成長した。これら労働者は被壓迫民族の解放運動に積極的に参加してゐる。ローデシヤの鏹夫射撃事件、ステレンボッシュに於ける劫掠、グット博士に反抗する印度人のリーダー逮捕事件、反土着人法律並に迫害等に抗議する集會には、労働者——ブール、英人、バンツ族、印度人——などが共に参加してゐる。斯くて漸次、民族的先入主、民族的偏見と敵意を克服しつつあるのである。

——ポリシエヴィク誌、一九四一年、三月、第六號——

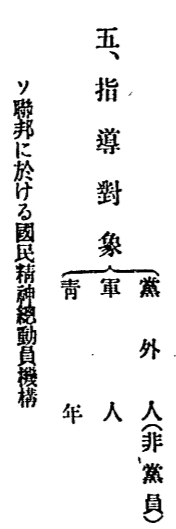
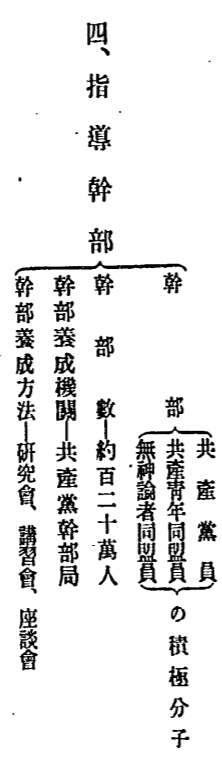
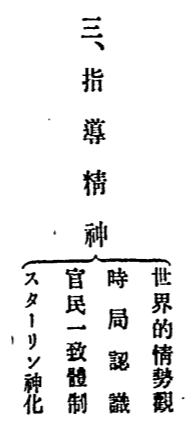
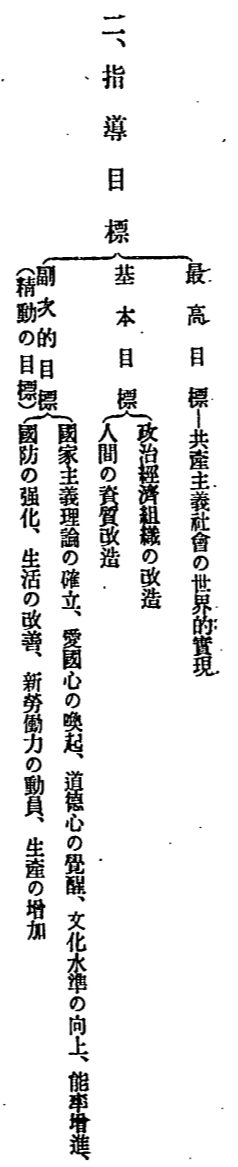
ソ聯邦に於ける國民精神總動員機構

目次

- 機構略表
- 第一、要旨
- 第二、機構
- 一、指導機關(實踐網)
- 二、指導目標
- 三、指導精神
- 四、指導幹部
- 五、指導對象
- 六、指導方法
- 指導機關表(實踐網)



(詳細は別表の如し)



ソ聯邦に於ける國民精神總動員機構

六、指導方法

一般指導方法—新聞、雜誌、文學、ラジオ、映畫、演劇、學校等
 (間接指導)
 團體指導
 個別指導
 (直接的指導方法)
 個別指導

第一、要旨

ソ聯邦には勿論國民精神總動員運動と呼ばれる、特殊な國民運動は見られない。然し、ソ聯邦に於ける革命運動の一段階を若し臨戦状態に於ける一種の高度國防國家建設運動と観るならば、全ソ共産黨の國內的活動の現段階には、ソ聯邦獨特の國民精神總動員運動の要素と性格とがあると言つて差支へあるまい。

斯く全ソ共産黨の行ふ革命運動の一段階を狭義に解釋して一種の精神總動員運動の要素と性格とを帯びたものと観る時は、此の精神總動員運動の中心機關は、全ソ共産黨であり、其の指導幹部は、共産黨員でなければならぬ。

斯くの如き意味に於ける精神總動員運動(以下精動と記す)の指導目標は、全ソ共産黨の本來の目標中の最下底のものであつて、國家主義理論の確立、愛國心の喚起、道徳心の覺醒、生活の改善、文化水準の向上、能率の増進、新勞働力の動員、生産の増加等々國家存立上、高度國防國家完成上第一に到達すべき段階である。

此の目標に到達するために全ソ共産黨は、補助機關なる共産青年同盟(以下共青と記す)や戰闘的無神論者同盟(以下無神論者同盟と記す)と協力し、一定の指導精神や指導方法を以て國民を精神的に動員しつゝある。

第二、機構

一、指導機關—實踐網

イ、中心機關 ソ聯邦に於ける精動本部といふべき精動の中心機關は、前述の如く全ソ共産黨であつて、政黨としての其の組織がそのまま精動の實踐網となつてゐる。が、共産黨内に於て特に専門に精動事務を管掌してゐるのは、全ソ共産黨中央委員會内の幹部局と宣傳煽動局と組織指導部とで、此處から發せられる實踐命令は、其の實踐網に從つて各加盟(民族)共和國共産黨中央委員會、共産黨州委員會、共産黨地方委員會、共産黨管區委員會等の書記局を経て其の幹部部、宣傳煽動部、組織指導部に傳へられ、此處から共産黨全市委員會、共産黨市區委員會、共産黨村區委員會等の書記局を経て其の幹部部(又は人事部ともいふ)、宣傳煽動部、組織指導部に傳へられ、或る命令は更に此處から共産黨初級機關と稱する最下底の共産黨委員會又はビュローの書記局を経て主として各種工場、企業、ソヴホーズ、コルホーズ、機械トラクター駐車場、部落、學校といつたやうな大衆的經濟機關や教育機關に傳へられ、或る命令は黨員グループと稱する他の最下底共産黨委員會又はビュローの書記局を経て主として大會、會議、ソヴエート機關、職業組合、協同組合といつたやうな所謂黨外機關に傳へられ、それら細胞組織となり、全ソ聯の毛細血管となるのである。

ロ、初級黨機關 共産黨初級機關、即ち初級黨機關は、被選出機關で、企業、ソヴホーズ、コルホーズ、機械トラクター駐車場、部落、學校等に於て働く黨員及び黨員候補者から成り、之には其の黨員數の多寡により七種の名稱

ソ聯邦に於ける國民精神總動員機構

がある。黨員候補者三人以上のものを候補者グループと呼び、黨員三人以上のものをコムソモール・グループと呼び、黨員百人以下のものを黨員班グループ或は黨員集合體と呼び、黨員百人以上のものを區黨機關或は部黨機關と呼び、黨員五百人以上のものを工場黨委員會と呼ぶ。

此の初級黨機關は、黨規第五十七條に於て規定されてゐる如く『黨の基礎をなす』ものであつて、黨は此の初級機關を通じて各黨員の活動を監督統制し、黨員は此の機關を経て上級機關へ統合され、整然たるシステムを形成するのである。

又黨の凡ゆる指導機關の選舉も此の初級黨機關を基礎として行はれる。即ち初級機關は全市、市區、村區等の黨會議々員を選舉し、之等の會議はそれ／＼全市、市區、村區等の黨委員會を選舉し、之等の黨委員會委員は其の内部から上級の各構成共和國、州、地方、管區等の黨會議々員を選舉し、之等の會議に於て各構成共和國、州、地方、管區等の黨委員會委員を選舉し、之等の委員は其内部から全ソ共產黨大會議員を選舉し、此の大會に於て全ソ共產黨中央委員會委員を選舉するのである。

初級黨機關は、工場、企業、ソツホーズ、コルホーズ、機械トラクター駐車場、部落、學校等の内部に組織され、其處の勤務員や労働者の指導力となる。黨は此の初級機關を通じて國民經濟の下級連環や社會主義建設の凡ゆる區域に結合してゐる。

初級黨機關は又黨の全組織活動と教育活動との基礎であつて、此の活動の如何により黨員の増減が行はれ、黨員の思想水準の高下が判定され、黨員の積極性の強弱が決定するのである。

結局初級黨機關の活動によつて優秀な前衛的労働者やコルホーズ員を選抜して之を入黨せしむることが出来るのである。

斯くの如き初級黨機關の役割からいふと、其の任務は、黨規第六十條に示す如く、次の如きものである。

『初級黨機關は、労働者、農民、知識層の大眾を黨の指導機關に連結するものであつて、其の任務は左の如し。

ア、大眾中に黨の標語決定を實施する煽動組織活動、工場新聞指導。

イ、新黨員の獲得、其の政治的教育。

ウ、區、市委員會或は政治部の實際活動援助。

エ、企業、ソツホーズ、コルホーズ及び其他に於て生産計畫を遂行し、労働規律を強化し、社會主義競争を發展せしめ、突撃労働を強行するために大眾を動員すること。

ヲ、企業、ソツホーズ、コルホーズ及び其他に於ける勤務員及び労働者の精神的弛緩を一掃し、非經濟的業務を清算し、文化的生活を改善すること。

カ、國內の經濟生活及び政治生活に積極的に参加すること。』

斯くの如き任務の下に初級黨機關は、政治的意識水準向上のために大眾を教育し、煽動解説により黨の訓令や決定を大眾に理解せしめる。

なほ初級黨機關は、黨内選舉の母體として議員選舉を行ふと共に企業當局監督権を有し黨員の任免権をも有してゐる。

初級黨機關は、上級各機關と同様黨員會議に於て委員會を選舉し、委員會は書記局を選舉して之を常設機關とし、

ソ聯邦に於ける國民精神總動員機構

之に一切の黨活動を一任する。又初級黨機關は、當面の活動のため一年期限で十一人以下のビュロー書記局を選出する。此のビュローは黨員十五人以上を有する黨機關に於て組織される。十五人以下の黨機關に於てはビュローなく書記のみを選出する。

ハ、黨員グループ 之は黨外機關即ち各種の大會、會議、ソヴェート機關、職業組合、協同組合等の非選出機關に於て設置されるものであるが、初級黨機關ではない。初級機關には企業、コルホーズ、ソフホーズ及び其他に於て働く凡ての黨員と候補者とが加入するに反し、黨外機關に於ける黨員グループには、之等の機關に於ける選抜共產黨員のみが加入することになつてゐる。

黨員グループは黨員の任免権を有せず、黨會議々員選舉も行はない。黨員グループの任務は、黨訓令遂行、ソヴェート機關の訓令遂行、官僚主義打破等である。黨員グループ員は、下から選舉されるのではなく、上から選抜任命されるのである。

從屬關係からいふと、黨員グループは其の所在機關の位置に應じて一々當該黨機關の支配を受けてゐる。例へば、州執行委員會内に於ける黨員グループは、州共產黨委員會から、市區執行委員會内に於ける黨員グループは市區黨委員會から直接支配されるのである。

ニ、軍政治部 之は赤色陸海軍々人及び運輸機關勤務者を思想的に教育する任務を以て設置されたもので、之も被選出機關ではない。此の機關の中心は、軍政治本部で、全ソ共產黨中央委員會の任命する所のものであり、軍事部、海軍部、運輸部に分け、軍事部内には赤軍政治局があり、海軍部内には海軍政治局があり、運輸部内には運輸政

治局があり、之等各局は政治課、軍事委員、黨機關、陸軍協議會、海軍協議會、鐵道協議會を有し、その下に軍政治委員會がある。軍政治委員會は、政治委員を陸軍部隊や海軍艦艇や運輸機關内に派遣して軍人や勤務員の思想的指導を行ふ。

ホ、補助機關 以上の共產黨といふ中心機關の外に更に補助機關がある。それは共青同盟と無神論者同盟とである。此の兩者は共に共產黨と殆ど同様の組織を有し、一面に於て共產黨員養成機關であると同時に他面啓蒙機關であり、教育機關であり共產黨の命令實踐機關である。

二、指導目標

イ、最高目標 ソ聯邦に於ける精動の指導目標は、結局全ソ共產黨の目標とする所と同一であるが、之に到達する順序から言つて、此の目標を最高目標と基本目標と副次的目標との三段階に區別することが出来る。共產黨の終局最高目標は、所謂人類の理想郷實現、即ち共產主義社會の世界的實現である。

ロ、基本目標 最高目標に到達する基本的方法としての目標は、政治經濟組織の改造及び政治經濟組織を運営する人間の資質改造である。

ハ、副次的目標 副次的方法としての目標は、前述の如く國家主義理論の確立、愛國心の喚起、道徳心の覺醒、文化水準の向上、能率の増進、國防の強化、生活の改善、新勞働力の動員、生産の増進等である。ソ聯邦精動の目標は、今日の場合また主として此の最下段のものである。

三、指導精神

ソ聯邦に於ける國民精神總動員機構

共産主義といふ基本的思想の上に打建てられたソ聯邦國民の指導精神も亦矢張り其の時期々々の世界情勢觀と時局認識とを反映してゐる。

イ、世界情勢觀 ソ聯邦當局者等は、殊にスターリンは今日の世界を資本主義の世界と社會主義の世界とに兩分し、獨りソ聯のみを眞の社會主義の世界とし、他の諸國を悉く資本主義の世界に總括し、資本主義の世界を更にフアシーズムの世界とブルジョア民主主義の世界とに兩分し、此の兩者はその本来の矛盾により徹底的に鬭争して遂に破壊し自滅するに至るものと觀てゐる。スターリンによると、『社會主義國なるソ聯邦の存在は、兩國家群即ち分裂鬭争する資本主義世界の注目を惹き、兩國家群は同様にソ聯邦を其の味方に引入れんとして競争を惹起する。ソ聯邦は此の競争を巧に利用して兩國家群を操縦し、兩者の鬭争を益々熾烈ならしめ、兩者を崩壊自滅に至らしめなければならぬ。既に對立する民主主義國家群とフアツシヨ國家群とは、戦争を開始し、歐洲からアジアに至るまで世界の半分を戦争に捲き込んでゐる。然し、警戒しなければならないことは、兩者が戦争の慘禍を體驗して遂にソ聯邦の方を振り返り、協同してソ聯邦を攻撃せんと試みるかも知れないことである。此の場合のためにソ聯邦は高度國防國家となつて強大なる軍備を整へなければならない。』

ロ、時局認識 以上の如き世界情勢觀を基礎としてソ聯邦は平和と中立を名とし、兩國家群の戦争遂行を不能ならしめ、戦火の擴大を制限するといふ美名の下に、又舊領土恢復の美名の下に一面弱小中立諸國を其の傘下に集め、交戰國の軍需品原料地を奪ひ、他面交戰各國の内部に反戰厭戰思想を傳播し、兵力と經濟力との内部的破壊を策し、戦争による疲弊を激甚ならしめ、戰勝者なき崩壊的戦争終結を招來し、斯くして戦争を國際戦から階級戦へ、階級戦

から革命へと誘導しなければならない。今は正に其の時である、斯う考へることがソ聯邦人の抱懐すべき正しき時局認識である。

以上の世界情勢觀と時局認識とを明瞭に教へてゐるのが、一九三八年九月發行の『全ソ共産黨略史』とスターリンの舊著『レーニン主義の基礎』の兩書で、此の兩書は今日ソ聯邦人の必携すべき聖書の如きものであり、全ソ聯邦人の必讀すべき人民教科書である。

ハ、官民一致體制 ソ聯邦に於ける指導精神は、斯くの如き世界情勢觀と時局認識とから發生するのである。即ち『全國民は對内的の一切の抗争を停止し、黨員と黨外人とががつちりと手を握り、知識層と労働者と農民とが親善一致し、鞏固なる一丸となつて凡ゆる困難を克服し、ソ聯邦の國防を完成せねばならぬ』といふのが今日のソ聯邦に於ける指導精神である。

以上の如き指導精神をもつて全國民が一致して高度國防へ突進するため其の推進力としてソ聯邦當局者等が採用し利用してゐるのは、愛國心と英雄主義とである。此の傾向は勿論非マルクス主義的ではあるが、國防のためには愛國心と英雄主義以外の推進原動力はあり得ない。其處でスターリンも敢て此の所謂『資本主義的遺物』を拾ひ上げて、之を極力鼓吹し始めたのである。

ニ、スターリンの神化 最後に指導精神形成上見逃すことの出来ないのは、スターリンを神化せんとする傾向である。別言すれば、スターリン全能思想を國民の頭へ注入せんとする傾向である。獨裁政治には獨裁者の全智全能不可誤の思想が伴隨して其の基底をなさなければならない。其處でソ聯邦當局者も先づ全ソ共産黨略史を以てスターリ

ンの正統性、即ち『スターリンはレーニンの正統なる後継者であり、マルクス主義、レーニン主義の正統なる發展者であるといふ信念』を國民の頭の中に植ゑ込むと同時にスターリンを國民讃仰の的としなければならぬ。従つてスターリンに捧げられた讚美の名稱は『偉大なる指導者』、『偉大なる教師』、『世界プロレタリアの父』曰く何、曰く何と多數であり、又スターリンを描いた小説、繪畫、詩文、映畫等も少くない。

四、指導幹部

指導幹部は、精進推進のために最も重要な基幹であるから、ソ聯邦當局等は、此の指導幹部を獲得し、之を養成することに非常な苦心と努力とを拂つてゐる。

イ、幹部養成機關と其の組織 指導幹部といふのは、廣い意味では勿論共産黨の幹部であるが、然し一九三八年三月の第十八回全ソ共産黨大會以後全ソ共産黨中央委員會内に『幹部局』といふものが組織されて、共産黨内の人事を司ると同時に専ら精進のための幹部を養成することとなつた。

なほ同様に各加盟共和國、各自治共和國の共産黨中央委員會、地方、州、管區の共産黨委員會、全市黨委員會、市區黨委員會、村區黨委員會等にも幹部部がある。

全市、市區、村區の幹部部の管掌事項は、『凡ての地方ソヴェート及び黨勤務員(民兵、看護婦、俳優、夜番に至るまで)を科學的に研究調査指導すること』であり、州、地方、管區の幹部部の管掌事項は、全市、市區、村區等の委員、會勤務員、州、地方、管區の施設及び機關に於ける全勤務者等を『科學的に研究調査指導すること』であり、各共和國の幹部部の管掌事項は、州、地方、管區黨委員會の全勤務員、各共和國人民委員部勤務員(内務人民委員部委員及び内

防機關員を含む)を『科學的に研究調査指導すること』であり、全ソ共産黨中央委員會幹部部の管掌事項は、各共和國、地方、州、管區等の委員、會勤務員、ソ聯邦各人民委員部勤務員、各科學機關の勤務員(學士院、文藝機關、スポーツ機關等の勤務員を含む)を『科學的に研究調査指導すること』である。

斯く共産黨内に於て特に幹部監督指導養成に當つてゐるのは、上級から下級に至る各共産黨機關内に於ける幹部部である。之等は各々下級機關のために幹部を養成すると同時に所管各部門の勤務員や勞務員を科學的に研究調査指導監督し、最下級の所謂初級共産黨機關の幹部は、各經濟機關やソヴェート機關や農村機關の指導に當る幹部を監督指導養成することを其の任務としてゐる。

ロ、幹部養成方法 之は宣傳煽動部や組織指導部にも關係ある仕事であつて、先づ初級共産黨機關内に於て一、下組、二、中組、三、上組の三組に分けて行はれる。養成用の教科書は、全ソ共産黨略史である。此の略史を下組に於ては省略して、(一)ポリシエウイキ黨創立闘争時代、(二)プロレタリアート獨裁獲得闘争時代、(三)政權獲得後のポリシエウイキ黨時代の基本的三段階に分けて教へる。又理論問題も一般に理解出来るやうな通俗的表現を以て教へる。中組では黨史を完全に各章別に研究せしめ、上組では各章細別研究、即ち遂字的的研究を行はしめる。

研究は下組から中組、上組へと進んで行く。研究期間は全體全組を通じて約一ケ年間、一ケ月に三回くらゐづゝ研究会を開き、二十人前後の研究員を集める。

研究員は、コルホーズ幹部養成の場合でいふと、村ソヴェートに於けるコルホーズ幹部養成研究者、村ソヴェート議長、コルホーズ代表者、畜産家、ブリガダ員、コルホーズ會計係、農村教育部勞務者等である。

ソ聯邦に於ける國民精神總動員機構

研究は、前述の如く、獨立して全ソ共産黨略史を讀みこなし得る程度で、略史の要領を捉足し得るやう個人的に指導することを建前とし、同時に思想的理論的水準を高めることを直接の目的としてゐる。

教授方法は、成るべく質問の要點を書かせて養成員から之に答へるといふ遣り方である。

初級共産黨機關に於ける幹部養成方法には、以上の如き共産黨略史研究会の外に講習會や座談會もある。

ハ、幹部數 廣い意味でいふと、共産黨員もコムソモール員も無神論者同盟員も亦各企業に於ける専門技術指導者等も、幹部といふことが出来る。それで此の意味から幹部數を挙げると、共産黨員百八十二萬四百五十人（一九三九年十月一日現在）、コムソモール員約一千萬人、無神論者同盟員二百九十二萬五千六百五十人（共に一九四〇年一月一日現在）、經濟指導者は一九三八年で既に十萬三千八百人であつたから現在では恐らく十五萬人以上に達してゐるであらう。従つてソ聯邦に於ける廣義指導者——幹部數の總計は、一千二百萬人以上に達してゐるわけで、若し此の中國民精神總動員指導専門の幹部數を一刻と見ても百二十萬人の専門指導者軍があることになり、假に停年以上の男女五千萬人と見ると、五十人に一人の専門指導者がある割合となる。

五、指導對象

イ、黨外人 精動の指導對象は、勿論ソ聯邦の全國民でなければならぬが、中でも精動としては共産黨に反感を懷き、共産黨の政策や活動に冷淡な分子を多く含む黨外人、即ち非黨員を國家建設と國防とに熱心ならしめ、更に之を共産黨員に誘引せんとし、『共産黨員と黨外人との提携』なる標語の下に全黨外人を國家的活動に動員せんとしてゐる。

ロ、青年 ソ聯邦の精動が特に指導對象として興味を有してゐるのは、主として青年であつて、國家の將來を擔ふ青年を指導して健全なる社會の勤勞者たらしむることは、指導者の最も重要な任務である。従つて指導者等は、コムソモールを通じて各方面の青年に働きかける。

六、指導方法

指導方法には二種ある。一は一般的指導方法であり、他は個別的指導方法である。前者は新聞、雜誌、文學、ラジオ、映畫、演劇、學校等による間接指導であり、後者は宣傳煽動員による直接指導である。

イ、一般的指導方法 ソ聯邦の印刷物、報道機關、文學、藝術、教育等は、眞實を探求、報道、表現するものではなく、主として唯物論、唯物辯證法、唯物史觀、共産主義、ソヴェート組織等の所謂『眞實性』を擁護立證するものでなければならぬ。従つてそれ等は悉く共産黨又は政府の機關であるか或はその直接の監督下にあるもののみである。

又一般的指導者として大なる役割を演じてゐるのは、工場通信員と農場通信員とである。之等の通信員は勞働者や農民や勤務員の活動を現場に於て觀察し、其の美點や缺點を中央の新聞に通信するのである。之は實情と事實による指導として非常に効果的のものと見られてゐる。

ロ、個別的指導方法 之は共産黨の宣傳煽動者又は指導者が、工場や農場や官廳や其他の機關へ入り込んで直接勞働者や農民や勤務員を指導する方法で、最近特に重要視されるやうになつたものである。即ち『一般指導よりも團體指導へ、團體指導よりも個別指導へ』といふのが最近採られてゐる重要指導方針である。

ソ聯邦に於ける國民精神總動員機構

指導者は行政監督権までも與へられて任地へ赴任し、先づ土地の青年共産黨機關並に無神論者同盟機關と連絡をとり、官廳、工場、農場等に對しては主として右の二機關を通じて働きかけ、成るべく直接被指導層に接觸しないこととなつてゐる。又少年層に對してはピオネール機關や小學校教師を通じて働きかけるやうになつてゐる。

青年共産黨機關と無神論者同盟機關とは、幹部養成の場合と同様、全ソ共産黨略史研究会や講習會や講演會や座談會や報告會等を組織し、此處へ指導者を招聘して指導を乞ふといふ宣傳煽動の形態をとつてゐる。

米國國民所得の變遷

——最近に於ける所得増加の傾向——

一九四〇年度の合衆國の國民所得は、聯邦商務省の査定によれば(註一)七六、〇三五、〇〇〇、〇〇〇弗であつた(一九三九年のそれより五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇弗多い)。一九四〇年度に於ける國民所得の増加は、國防計畫に隨伴して、殆ど専らその後半期に達成せられた。外國情勢の混亂と豫想困難並に自國の國防の急迫せる必要とは、非耐久財及消費財産業及び諸奉仕産業の急激な擴大を停滯せしめ、戰時輸出産業及び國防産業の擴張を強く刺戟した。重量のある鐵及鋼製品、非鐵金屬、金屬加工機械、航空機、火器、及び化學製品等の商品輸出は一九四〇年には前年の倍以上に達した。而してこれ等の輸出中五五%は一九四〇年後半期に行はれた。國防支出も亦倍以上に及んでゐる。

(註一) 商務省、「最近の事業概観」一九四一年六月號。同誌に於いて、ミルトン・ギルバート氏及ドゥアイト・ビー・ユンテマ氏によれば、一九四〇年の國民所得は七六〇億弗を超えた。この論文では前年の數字に改修を加へてゐる。改修された主なる點は一九三九年の製造業國勢調査の數字を利用せる事によるものであり、特に貸銀支拂に關する資料の調整に關して行はれた。國民所得の構成に關しても項目移動の結果改修をみたが、それは特に造船項目を建築部門から製造業部門へ移項せる爲である。最近利用し得る繰になつた徴稅局の資料によつて事業収入の推定を改善する事が可能となつた。國家經濟調査局の行へる一九一九—一九二九年間の推定は一九二九年を基礎とする商務省の推定と組合はして作られた。

一九四〇年度の國民所得總額は一九三九年に比して七・六%、一九三二年に比して九〇・一%高く、一九二九年より八・八%低い(併し此等の數字は價格變化を考慮してゐない)。非價格の變化を調整すれば、一九四〇年の實質所得は一

米國國民所得の變遷

九二九年より一%高く、一九三九年及一九四〇年のそれは二〇年前より六〇%高くなつてゐる。一九四〇年に於ける一人當り實質所得は最高年たる一九二九年のそれよりも高かつた。(註二)

(註二) 價格及生計費指数を利用して所得額を調整する事は非常に困難である爲に、その結果としての實質所得推定額は極めて大ざつばな數字である。

國民所得の推定額は、所得の定義、推定に使用せる資料及び計算方法の如何によつて若干異なる。商務省の所得推定に於ける國民所得の概念は、同省によつて次の如く定義されてゐる。

國民所得とは、私的及公的經濟企業の生産せる財及び奉仕の純價値の大きさである。それは凡ゆる生産實體——會社、組合、個人企業及び政府機關——の行へる經濟活動を指すものである。國民所得の推定は實際には、數個の大産業部門(例へば農業、鑛業等)毎に求められた各部門の國民所得が全體の國民所得の構成部分となる様に、産業部門の線に沿うて行はれる。その大きさは、純大きさ即ち純生産物價値を得る爲に、原料、物資及び生産中に消費された施設や装置の價値を、生産された商品及奉仕の粗價値から差引いた額を意味する。

私的及公的經營體は、生産行程に貢獻してその純生産物の分前に參與する所の個人が提供する人間の奉仕と資本とを利用する。純生産物は、俸給及賃銀、事業團體の純所得、利子並びに家賃及手数料の形をとる所の報酬によつて表示される。俸給及賃銀に對する増補、利子並びに純家賃及手数料は經營體の支拂へる金額によつて表示されるが、事業團體の純所得は會社による配當と個人事業の所有主の控除部分までを含む純所得と支出額との差は經營體の貯蓄(かゝる「貯蓄」は積極的な事も消極的な事も)を構成する。事業團體によつて實際に支拂はれた所得とそ

の團體の貯蓄との和は國民所得に等しい。従つて國民所得は生産された財及奉仕の純價値の大きさであり、また此等財及奉仕に對する請求權の純價値の大きさである。

生産された財及奉仕の純價値乃至此等の財及奉仕に對する請求權の大きさと云ふ意味での國民所得の概念は、商務省の報告中で「個人に對する所得の支拂」といふ名稱で月別所得推定及び州別年度所得分布に於て使用されてゐる概念と若干異なるものである。「個人に對する所得の支拂」は國民所得の推定額より大又は小であり得る。(註三)

(註三) 商務省によれば國民所得と個人に對する所得の支拂とを一致させる爲には次の如き考慮を必要とする。控除すべきもの(1)雇主の恩給及その他の寄與(社會保險、鐵道退職局及び政府の被雇者に對する諸制度の管轄下に於ける(2)被雇者の恩給及その他の寄與(上述の諸制度に於ける(3)事業の貯蓄。加算すべきもの(4)直接救濟(養老補助、要救濟児童援助 dependent children 及盲人援助を含む(5)退役軍人に對する聯邦の恩給(Payment on adjusted service certificate を含む(6)政府の退職手當(失業補償、養老保險及鐵道退職計畫に於ける保險の恩惠。總括的な月別所得資料に就ては労働月報一九四一年四月號「一九二九—一九四〇年間の合衆國の月別所得支拂」を、州別所得に關しては労働月報一九四一年一月號「一九二九—一九三九年間に於ける州別所得支拂」を参照されし。

一九一九—一九四〇年に於ける一般傾向

商務省は一九二九年以後に於ける國民所得の詳細な推定を發表してゐる。國家經濟調査局も一九一九年以後に就て同じくかなり詳細な推定を行つてゐる。而して商務省は、産業源泉別所得及收入種類別所得の兩系列一九二九年の數字を基礎として比較しつゝ、一九一九—一九四〇年間の兩系列の國民所得を繼續的に推定してゐる。(註四)一九一九—一九四〇年間の産業源泉別による國民所得は第一表に示される。

米國國民所得の變遷

(註四)「収入種類別所得」なる語は事業團體から移譲される所得の分前(俸給、賃銀、配當等)に關するものであり、之に積極的乃至消極的な「事業の貯蓄」を加へたものは國民所得總額に等しい。かかる意味の「収入種類別所得」は以前には「支拂はれた所得」と同じであつた。

第一表 國民所得—産業別一九一九—一九四〇年 (單位一〇億ドル)

年	總額	農業	製造業	建築	運輸	商業	金融	政府	奉仕業	その他
一九一九年	六七七	一一一	一七三	一九	五八	一一二	五七	四七	五一	四九
一九二〇年	六九八	九一	一八四	二五	七一	九七	六一	四七	六〇	六二
一九二一年	五二八	六三	一〇七	一九	五七	七一	六〇	四八	五八	四五
一九二二年	六〇六	五九	一三九	二四	五八	九一	六七	四九	六七	五二
一九二三年	七〇〇	六七	一七四	三二	六五	一〇三	七二	五三	七〇	六四
一九二四年	七〇一	七三	一六〇	三三	六四	一〇一	七七	五二	七六	六五
一九二五年	七四八	七七	一七四	三五	六七	一〇七	八一	五四	八三	七〇
一九二六年	七六九	七三	一八〇	三六	六七	一〇九	八四	五六	八五	七七
一九二七年	七六四	七二	一七六	三五	六七	一〇六	八七	五六	八八	七四
一九二八年	八〇二	七三	一八七	三七	六八	一一〇	九六	六一	九四	七六
一九二九年	八三四	七三	二〇四	三五	七一	一一一	九四	六三	九九	八四
一九三〇年	六九〇	五六	一五一	二六	六二	九〇	八〇	六五	八九	七一
一九三一年	五四三	三七	一〇三	一八	五〇	七二	六五	六五	七五	五八
一九三二年	四〇〇	二六	六一	〇八	三七	五一	四九	六五	五七	四六
一九三三年	四二五	三四	八二	〇五	三六	五九	四四	六六	五四	四五
一九三四年	五〇三	四六	一〇六	〇七	三八	六八	四七	七六	六三	五二
一九三五年	五五八	五三	一二五	〇九	四一	七五	五二	七九	六八	五六

前表に示せる如く、此期間に於ける特に顯著な變化は、種々の重要經濟部門別所得の割合が著しく變化してゐる事である。一九四〇年の國民所得は一九一九年のそれよりも著しく大きいに拘らず、農業部門からの所得は一一億弗から六〇億弗に減少してゐる。この變化は國民經濟の顯著な構造變化を示すものである。

一九一九—一九四〇年の収入種類別にみた國民所得は次表(第二表)に示す如くである。

第二表 國民所得—収入種類別、一九一九—一九四〇年 (單位一〇億ドル)

年	國民所得		被雇者給料		利子	純家賃及手數料
	總額	中、配當	總額	中、配當		
一九一九年	六七七	三八〇	三七七	五九	一八一	三〇
一九二〇年	六九八	四四七	四四四	四四	一四四	三四
一九二一年	五二八	三五六	三五三	〇四	一〇二	三六
一九二二年	六〇六	三七六	三七三	四〇	一一八	三八
一九二三年	七〇〇	四四二	四三八	五三	一二七	四二

米國國民所得の變遷

一九二四年	七〇・一	四三・八	四三・四	四・六	三・七	一三・五	四・五	三・七
一九二五年	七四・八	四五・八	四五・四	六・三	四・四	一四・一	四・八	三・八
一九二六年	七六・九	四八・五	四八・一	六・三	四・七	一三・六	五・〇	三・五
一九二七年	七六・四	四八・六	四八・二	五・五	五・〇	一三・七	五・三	三・三
一九二八年	八〇・二	五〇・一	四九・七	七・〇	五・三	一四・一	五・六	三・四
一九二九年	八三・四	五二・七	五二・二	七・二	五・九	一四・二	五・九	三・四
一九三〇年	六九・〇	四七・九	四七・四	一・七	五・六	一〇・七	六・一	二・七
一九三一年	五四・三	四〇・三	三九・八	(一)一・六	四・三	七・五	六・六	二・〇
一九三二年	四〇・〇	三一・五	三〇・九	(一)三・六	二・七	五・三	五・七	一・二
一九三三年	四二・五	二九・六	二八・五	(一)〇・六	二・二	七・二	五・一	一・二
一九三四年	五〇・三	三四・二	三三・四	〇・六	二・七	八・九	五・二	一・五
一九三五年	五五・八	三七・二	三五・四	一・七	二・九	一〇・一	五・一	一・七
一九三六年	六五・一	四二・六	三九・六	三・八	四・七	一一・八	五・〇	一・九
一九三七年	七一・四	四七・八	四四・六	三・九	四・八	一二・五	五・〇	二・一
一九三八年	六四・四	四四・九	四四・一	一・七	三・二	一一・〇	四・九	一・九
一九三九年	七〇・七	四八・一	四四・三	三・八	三・八	一一・九	四・九	二・〇
一九四〇年	七六・〇	五一・八	四八・二	四・八	四・二	一二・四	四・九	二・一

(註) (一) 第一表の脚註参照
(二) 所有者の對人奉仕による報酬を含む

第二表から知り得る最も重要な點は、被雇傭者の給料に歸屬する國民所得部分の比率が著しく向上してゐる事である。被雇傭者の給料は一九一九年には全國民所得の僅か五六・一%にすぎなかつたが、一九四〇年には六八・二%となる。

つた。俸給及賃銀だけに就てみれば、その増加割合は被雇傭者の給料總額のそれに比していくらか、緩慢ではあるが一九一九年の五五・七%から一九四〇年の六三・四%と尙かなり急騰を示してゐる。被雇傭者の給料中には俸給及賃銀の外之等に對する増補を示す(第二表)。被雇傭者の給料總額の若干部分は、正常的な雇傭關係に屬せざる被雇傭者に對する給料(例へば農民に對してその農業所得を補ふ目的で緊急雇傭の對價として支拂はれた給料)からなりたつてゐる。

被雇傭者へ歸屬する國民所得部分の増大は主として、國民經濟が、小規模な乃至は家族單位的大ききまでしかない様な農場や企業と區別される如き雇傭労働によつて操作される所の、大規模企業の方角へ、移行せる結果である事はいふまでもない。この傾向は、例へば、雇傭されてゐる人又は正常的に雇傭され得る人といふ意味での労働の供給を形成する人格と對立的な地位に立つが如き企業家及自己雇傭者數の一九二〇—一九三七年間に互る推定數によつて示される。(註五)企業家及自己雇傭者の推定數は、一九二〇年の二二、三七六、〇〇〇人から一九三七年には一三、〇二二、〇〇〇人に増加したが、その有収入職業人中に占める割合は二九・二%から三三・九%に低下してゐる。しかるに、労働供給數は一九二〇年の二九、九五、〇〇〇人から一九三七年の四一、四四七、〇〇〇人に増加し、その有収入職業人口中に占める割合も七〇・八%から七六・一%に増大した。

(註五) 合衆國事業計畫局。國家調査計畫。労働供給と雇傭(ダニエル・カーソン及その助手ヘンリッタ・リーブマンによる推定結果とそれを使用せる方法に關する第一次報告第一四二頁)

總所得中で占める被雇傭者の給料の割合が増大したのは、一つには、國民經濟中で一般に被雇傭者の給料所得の割合

合を増大させる如き部門に於ける雇傭増大の割合が高かつた事に起因する。この傾向は或種の奉仕産業及政府産業によつて證明される。政府事業から生ずる所得の總國民所得中で占める割合は一九四〇年の方が一九一九年よりも著しく大きく、且つ、賃銀及俸給全體が總國民所得中で占める割合は六三三%にすぎないのに比較して、政府に起因する所得の七七五%は俸給及賃銀部分から成つてゐる(但し救済事業の給料を含まず)。總所得中被雇傭者群に歸屬する部分の割合は増大してゐるのに、雇傭關係の比較的變化してゐない或種の重要産業(就中、製造業、鑛山業及び鐵道運輸業)に於ては賃銀の總所得中に占める割合は減少してゐる。此等の産業に於ては賃銀は俸給及びその他の所得から切離す事が出来る。この三産業部門に於てはその總所得中に於ける賃銀部分は一九一九年には六四・六%であつたが一九三九年には五九・五%に低下した。(註六)

(註六) 勞働月報一九四〇年九月號第五一七―五四四頁。ウィット・ポテン著「一九〇九―一九三九年年間に於ける賃銀・勞働時間及勞働の生産力」

賃銀及俸給(一九二九―一九四〇年)

此處に集計せる一九二九年―一九四〇年間の調査に關する詳細な統計表は、産業部門別に於ける被雇傭者の凡ての俸給及賃銀並びに一人當り平均給料(俸給、賃銀)の推定を示すものである。一定期間に對するこの推定は第三表及第四表に示される。

賃銀及俸給總額の推定(第三表)によれば、一九四〇年には一九二九年に比して總額は減じてゐるが、之を下ルの

購買力で表示してみるとかなり増加してゐる。勞働統計局の生計費指數(第四表の末尾に掲示す)によれば、一九四〇年生計費指數は一九二九年より一八二%低い(一九四〇年の賃銀及俸給總額は一九二九年に比して七八%低いにすぎない。各産業部門に於て賃銀及俸給が國民所得額中で占める割合は著しく變化した。農業、請負建築、運輸(主として鐵道)及び證券仲介業及不動産仲介業に於ける俸給及賃銀合計は著しく低下した。平均的に低下してゐるので、増加せるものは減少せるものに比して目立たないが、一九四〇年の生計費を考慮すれば、第三表に掲示せる産業部門の大部分に於て、生計費指數で調整せる被雇傭者の給料は若干増加を示してゐる。

第三表 産業部門別被雇傭者賃銀、俸給總額

	一九二九年	一九三二年	一九三三年	一九三七年	一九三八年	一九三九年	一九四〇年
全 部 門	五二、二四六	三〇、八八八	二八、四九〇	四四、六二五	四一、〇八九	四四、三四九	四八、一五八
農 業 總 額	一、二八四	五八四	五二七	七九四	七五八	七三六	七四五
鑛 業 總 額	一、六〇二	七〇九	七五五	一、三二一	一、〇六三	一、〇八一	一、一五八
無 煙 炭	二五七	一四六	一三三	一〇一	一〇四	一〇四	一〇一
煙 炭	一、三四五	五六三	六二二	一二二〇	九五九	九〇七	一、〇五七
ビツミナス炭	六三六	二七五	二九七	五三四	四五三	四六六	五一五
金 屬	二二二	五七	五七	二〇五	一四二	一四二	一八五
非 金 屬	一五一	六八	六二	一〇一	九五	一〇四	一一九
石油及ガス	三九六	一六三	一八一	二七九	二七二	二五〇	二三八
製造業、總 額	一五、八七〇	七、四四七	七、五〇六	一四、〇七六	一三、〇二二	一三、三六〇	一五、二二八
食料及煙草	一、五〇	一、〇一七	一、〇四四	一、五七三	一、四四四	一、五九五	一、六七一

米國民所得の變遷

紙、印刷及刊	一、六二五	一、六〇〇	九五〇	一、四二〇	一、三三三	一、三三三	一、四三三
織維及皮革	二、八九八	一、五二八	一、六七六	二、四二二	二、一三九	二、一三九	二、四三三
建築材料及家	一、八一	五九〇	六〇八	一、二九二	一、〇七九	一、〇七九	一、三三六
化學及石油精	八五八	五二六	五〇〇	八五〇	七九七	八四〇	九三三
金屬及金屬製	五、九四七	二、一〇九	二、三三三	五、六五八	三、九五二	四、九〇一	六、三六〇
雜製造業及	五九一	二七〇	二七四	四八七	四〇七	五二七	五七二
中央管理局	六〇〇	三三〇	二九二	三七六	三六一	三六七	四一一
請負建築、總額	二、九四七	八〇六	四八	一、四〇三	一、四〇三	一、六八九	一、九〇七
運、總額	四、九三九	二、八〇六	四八	三、八二五	三、四二二	三、六五九	三、八三八
蒸氣鐵道、	三、三三八	一、六八五	一、五〇〇	二、二二八	一、九六一	二、〇九〇	二、一五六
及急行車	四七二	二八五	二九七	五〇七	四一七	四八一	五二二
水、運	七一九	五〇〇	四三三	七二五	六五三	七〇〇	七五九
自動運、輸及	四六四	三二二	二六八	三二二	三〇八	三二二	三二六
市街、鐵道	六	一	一	二四	二七	三三	四三
空、運	五〇	三一	三〇	四九	四六	四四	四二
パイプライン	六五六	四八三	四三〇	六六五	六六八	六七一	六八八
動力及ガス、總額	四三九	三二二	二八六	四四七	四四九	四五二	四五二
電燈及電力	二二七	一七一	一六四	二二八	二二九	二二九	二二二
ガ、ス	七〇六	五三四	四六一	六〇六	六〇九	六三二	六五二
通信、總額	五八九	四五八	三九三	五二七	五三〇	五三九	五六六
電話							

四四

電、信	一、一七	七六	六八	八九	八〇	八三	八六
商業、總額	八〇八五	五、一七	四、〇七	六、八二八	六、五七六	六、八八七	七、二五五
小、賣業	四、九六六	三、一六二	二、八七	四、一五〇	三、九六七	四、一四八	四、四〇〇
卸、賣業	三、〇八九	一、九五五	一、七〇	二、六六八	二、六〇九	二、七三九	二、八六五
金融、總額	二、五〇三	一、八八九	一、七〇	二、〇三五	一、九六一	一、九九四	二、〇四九
銀行	八〇九	六二七	五三三	五九七	六〇五	六二〇	六三四
保險	九八四	八三八	七三三	九三六	九二〇	九三〇	九五一
擔保、仲介業	七〇	四四三	四〇八	五〇一	四三六	四四四	四六四
及不動產	四九五〇	四九一一	四、〇〇	五、六五七	五、九二七	六、一九七	六、六八九
政府、總額	一、三九九	一、三九九	一、三三三	一、九〇八	一、九五一	二、〇七八	二、一〇〇
聯邦、(註一)	四三三	四六六	四四四	六二九	六八三	七〇三	七二四
州	一、三三六	一、〇一	九〇八	一、〇七	一、一七	一、二八二	一、三三三
市、町、村、及小	三三二	三一	三三六	四三	四三	四五四	四七三
行政單位	一、六一	一、六四	一、四九〇	一、六四五	一、七一九	一、七八〇	一、八七四
公、教	六、五〇六	四、三三	三、六九〇	五、六一五	五、三七一	五、六六〇	五、九三七
奉、仕、總額	一、三三	一、〇九	一、〇一〇	一、二二	一、三三七	一、三六五	一、三九二
自由、職業	二、一四〇	一、三三	一、一四三	一、九八八	一、九二二	二、〇三四	二、一六一
對人的奉仕	四三三	二九	二五九	四一〇	四〇二	三九四	四一四
娛樂、(註五)	四三三	二九	二五九	四一〇	四〇二	三九四	四一四
事業に於ける	二、二五	一、三〇	一、〇〇	一、六三三	一、四三九	一、五三一	一、六二七
奉仕、(註六)	二、二五	一、三〇	一、〇〇	一、六三三	一、四三九	一、五三一	一、六二七
雜奉仕、(註七)	二、二五	一、三〇	一、〇〇	一、六三三	一、四三九	一、五三一	一、六二七
内奉仕、(註七)	二、二五	一、三〇	一、〇〇	一、六三三	一、四三九	一、五三一	一、六二七
その他、總額	二、二五	一、三〇	一、〇〇	一、六三三	一、四三九	一、五三一	一、六二七

米國民所得の變遷

四五

四五

(註) (一)「その他」の部に含まれる或種の金融施設を含みます。(二)救濟事業の貸銀を除く。(三)宗教、個人教育、醫療、法

律、會計及技術(相談)關係者を含む。(四)宿屋、料理屋、洗濯、クリーニング及築物屋、アパート及官廳建築物床屋及業莊院を含む。(五)映画製作及公開ラジオ放送その他私營の娯樂的事業を含む。(六)廣告機關、商業協會、商業會議所その他事業施設に奉仕する事業を含む。(七)家内奉仕及び自動車、ラジオ、エレベーター、時計及びその他商品等に關係して奉仕する業務を含む。

此の推定はまた、各産業部門の被雇者一人當り平均給料を示してゐる。被雇者一人當り給料は「標準労働時間」に換算せる「給料」を示す。

此處で使用せる標準労働時間に換算せる年雇儲とはその年に於ける各種の報告支拂期間に於ける就業人員數を標準労働時間に換算せるものである點を注意せねばならぬ。之はその年の一定時點に於ける種々の就業人員總數と混同すべきではなく、また之は報告支拂期間又は報告されなかつた期間に於ける延就業時間による雇儲と同價値のものでもない。

第四表 産業別被雇者賃銀、俸給平均額(労働時間に換算せるもの)

産業部門	一九二九年	一九三二年	一九三三年	一九三七年	一九三八年	一九三九年	一九四〇年
全部門	一、四七二	一、一七九	一、〇八九	一、三〇四	一、二八四	一、三一八	一、三五二
農業全體	八二八	四七一	四三四	六〇六	五八三	五八八	五八二
礦業全體	一、四九二	九九二	九七六	一、二六九	一、三三〇	一、三三一	一、三二六
無煙炭	一、六五八	一、三七七	一、三七六	一、三〇九	一、三三二	一、三三六	一、二七八
ピツミナス炭	一、三二四	七四一	七六五	一、一一七	一、〇八一	一、一三三	一、二〇六
金屬	一、六三一	九八三	九八三	一、四三四	一、二七九	一、三三二	一、四二二

非金屬	石油及ガス	製造業全體	食料及煙草	紙、印刷及刊	織維及皮革	建築材料及家	化學及石油精	金屬及金屬製	雜製造業及	中央管理局	諸負建築、全體	運輸全體	蒸氣鐵道、プ	ルマン式車輛	水及急行車	自動車運輸及	公設倉庫	市街鐵道	空	パイプライン	動力及ガス全體	電燈及電力						
一、三九八	一、七五六	一、五四二	一、三七八	一、八三五	一、三三九	一、三五四	一、五六〇	一、七二三	一、五三九	二、八八五	一、九〇四	一、六六八	一、七四八	一、六四五	一、三三七	一、七二五	一、七二五	二、〇〇〇	二、〇〇〇	一、六〇四	一、六一四	九〇七	八二七	一、二三四	一、一七二	一、二〇九	一、三六八	
一、五五二	一、四〇三	一、一三九	一、一六六	一、五五六	一、四一六	八七五	一、三三二	一、一四七	一、一六九	二、五六七	一、四五〇	一、三三〇	一、四五九	一、三九〇	一、〇五〇	一、五三七	一、四三三	一、一六七	二、一六七	一、五〇〇	一、三六八	一、三三九	一、二三四	一、五四一	一、五九一	一、六〇三	一、五九七	
一、四〇三	一、三三八	一、〇六五	一、〇八〇	一、四一六	一、四一六	八四六	一、一一〇	一、一一一	一、〇九二	二、四五四	一、一一六	一、三〇九	一、四三九	一、三三四	九三三	一、四三三	一、四三三	一、一六二	二、一六二	一、五〇〇	一、三六八	一、三三九	一、二三四	一、五四一	一、五九一	一、六〇三	一、五九七	
一、二三四	一、一七二	一、三三八	一、二三八	一、五八五	一、五八五	九九七	一、一三一	一、五七三	一、三八七	二、八七〇	一、四一九	一、六一三	一、七七四	一、七七九	一、一七二	一、六四二	一、六四二	一、一八二	二、二五〇	一、八九五	一、六九六	一、七二六	一、二三四	一、二七二	一、三〇四	一、三〇四	一、三〇四	一、三〇九
一、一七二	一、一七二	一、二八九	一、二六五	一、五九六	一、五九六	九九〇	一、〇九三	一、四三二	一、三〇四	二、八四三	一、三六八	一、六三三	一、八四八	一、六六八	一、一四一	一、六九二	一、七三三	一、二八二	二、二八六	一、七五三	一、七五三	一、七八二	一、二三四	一、二七二	一、三〇四	一、三〇四	一、三〇九	一、三六八
一、二〇九	一、二〇九	一、三三七	一、三三七	一、六三七	一、六三七	九九〇	一、一七一	一、五七三	一、三〇四	二、八六七	一、四三三	一、六五二	一、八七八	一、七八一	一、一三六	一、七三三	一、七三三	一、二八六	二、二八六	一、七五三	一、七五三	一、七八二	一、二三四	一、二七二	一、三〇四	一、三〇四	一、三〇九	一、三六八
一、三六八	一、三六八	一、四三三	一、四三三	一、六六二	一、六六二	一、〇〇六	一、一七一	一、六〇六	一、三〇四	二、九七八	一、四三三	一、六五二	一、九一五	一、七八一	一、一七二	一、七三三	一、七三三	一、七六五	二、一五〇	一、八二六	一、七五三	一、七八二	一、二三四	一、二七二	一、三〇四	一、三〇四	一、三〇九	一、三六八

米國國民所得の變遷

ガ	一、五八四	一、五二七	一、四〇二	一、六三九	一、六九八	一、六九八	一、六九五
ス	一、三三七	一、三二八	一、二二五	一、四八五	一、五四四	一、五六三	一、五九〇
通信全體	一、三三七	一、三七一	一、二六三	一、五五三	一、六一一	一、六一九	一、六五五
電	一、二四五	一、一八八	一、〇四六	一、一八七	一、二二一	一、二七七	一、二六五
電話	一、五八八	一、三二五	一、一九〇	一、三七八	一、三九〇	一、四〇〇	一、四一一
商業全體	一、三八四	一、一五三	一、〇五五	一、二二四	一、二二七	一、二三五	一、二九九
小	二、〇八四	一、七〇三	一、五一一	一、七二五	一、七四〇	一、七五七	一、七七一
卸	一、八一八	一、六五六	一、五九五	一、七五九	一、七二七	一、七二六	一、七四八
金融全體	一、七四〇	一、七一九	一、六三三	一、八二六	一、八五〇	一、八七九	一、八九三
銀行	一、八六四	一、五七二	一、五〇二	一、七五九	一、七〇一	一、七〇六	一、七二六
擔保、仲介業	一、八四九	一、七四四	一、七四四	一、六八五	一、五九一	一、五八六	一、六二二
及不動産	一、五一七	一、四六六	一、三四四	一、四五五	一、五〇七	一、五一一	一、四九〇
政府全體	一、六二二	一、五七三	一、四二八	一、六〇三	一、六二七	一、六〇三	一、四九三
聯邦	一、二九八	一、二八〇	一、二二〇	一、二五八	一、二六二	一、二七四	一、二六一
州	一、六二二	一、六二二	一、四四七	一、五四五	一、六六八	一、六六〇	一、七一一
市	一、三九九	一、三九一	一、二七三	一、三二六	一、三五六	一、三四三	一、三七九
郡町村及小	一、四六三	一、三七四	一、二七六	一、三七一	一、四四五	一、四八一	一、四九三
行政單位	一、一〇三	八八一	八一〇	九四二	九四三	九五九	九七六
公教育	一、二二五	一、二二八	一、〇五二	一、〇九一	一、〇九〇	一、〇九九	一、一一二
奉仕全體	一、二四一	九三九	八三八	一、〇二五	一、〇三一	一、〇六二	一、〇九二
自由職業	一、八二三	一、七二二	一、五六〇	一、七三六	一、六八二	一、六九〇	一、六七二
對人的奉仕	一、九七四	一、六八七	一、五三九	一、七四八	一、八一四	一、八五〇	一、八七三
娛樂(註一)							
對事業奉仕							

四八

雜奉仕及家内奉仕(註一)	八三三	五七三	五三一	六六四	六三八	六四七	六六一
その他全體	一、四六二	一、一三一	一、〇五四	一、二九六	一、二一九	一、二九三	一、三三六

備考 労働統計局生計費指数

- (一) 賃銀を支拂はざる家族労働を除く
- (二) 第三表に於ける該當項目の註を参照
- (三) 救済事業被雇傭者を除く

一九四〇年に於ける賃銀所得者及被雇傭傭給生活者の一人當り平均給料は、賃銀及俸給總額と同様に、一九二九年よりも減少を示し、一九二九年には一、四七二弗であつたに對し一九四〇年のそれは一、三五一弗である。併し賃銀及俸給總額の場合と同様にこの場合にも生計費の變化を考慮せねばならない。かゝる調整を行へば、一人當り平均給料はかなり増加を示してゐる。併し二、三の産業部門に於ては、一人當り賃銀の低下は生計費の低下率よりも遙かに大である。例へば、無煙炭鑛業及び請負建築業に於て見られる所の比較的急激なる一人當り平均給料の低下は、主として、就業時間數の減少及び標準以下の就業時間の割合の顯著な増大に歸因する。農業及び家内奉仕その他の奉仕業に於ても、一人當り平均給料の低下率は生計費指數の低下率を凌駕してゐるが、此等の部門の一人當り平均給料の低下は主として、此等部門の給料支拂額が一般水準以下に低下しつゝある傾向によるものである。

西部支那の近況概観

本篇は遠東時報一九四一年八月號に「西支那新帝國の生誕」の標題の下に掲載されたもので、主として西部支那の農産、日常生活物資、工、鑛産、交通等の諸事項に互つて近況報告を行つてゐるものである、全篇を通じて努めて樂觀的觀察を以て裝ひ、粉飾的報告を以て糊塗してゐる個所を到る處に見出すのであるが、一應此處には其儘紹介することとした。

一、一九四一年の冬季作物

西支那に於ける一九四一年の冬季作物反別は、一九四〇年に比較すると、僅に増加しては居るが收穫見積高は事實一九四〇年以下である。反別に於ては、寧夏、青海、甘肅、陝西、河南、湖北、四川、雲南、貴州、湖南、江西、浙江、福建、廣東、廣西を含む十五省から報告せられた如く一九四〇年の増加を越して平均四パーセントの増加を示して居る。

報告によると、小麦の反別は總計二二八、〇〇〇、〇〇〇畝(二一、三〇〇、〇〇〇エーカー)、即ち一九四〇年の増加に對して八パーセントの増加、大麦は五一、〇〇〇、〇〇〇畝(八、五〇〇、〇〇〇エーカー)で一、七〇〇、〇〇〇畝(三〇〇、〇〇〇エーカー)、即ち三パーセント増加、豌豆は三四、〇〇〇、〇〇〇畝(五、七〇〇、〇〇〇エーカー)で六〇〇、〇〇〇畝(一〇〇、〇〇〇エーカー)即ち二パーセント増加、蠶豆は三二、〇〇〇、〇〇〇畝(五、

〇〇〇、〇〇〇エーカー)で一、七〇〇、〇〇〇畝(三〇〇、〇〇〇エーカー)、即ち六パーセントの増加、菜種は五六、〇〇〇、〇〇〇畝(九、三〇〇、〇〇〇エーカー)で一、四〇〇、〇〇〇畝(二三〇、〇〇〇エーカー)、即ち三パーセントの増加を示して居る。

一九四一年の冬季作物の作物反別増加には少數の例外がある。例へば、四川省では菜種の作物面積は、昨年の菜種油の廉値のために十八パーセントまで減少して居る。雲南、貴州、湖南に於ける豌豆の反別は豌豆の市價低落と蠶害の蔓延のために四パーセント減じた。浙江の蠶豆、廣東の菜種の反別も、亦小麦、大麦が更に栽培されたために一、二パーセント減じてゐる。

作物反別の一般的増加にもかかわらず、重慶の國立農業研究所による前見積高では、一九四一年の全冬季作物量は低減の傾向を示して居る。之は今年の春の廣範圍にわたつた旱魃によるものである。この十五省における小麦收穫は一九五、〇〇〇、〇〇〇ピクル(一一〇ポンド)と見積られて居り、六、〇〇〇、〇〇〇ピクル、即ち一九四〇年の生産に比べて三パーセント減少して居る。大麦は七八、五〇〇、〇〇〇ピクルで七、四〇〇、〇〇〇ピクル、即ち九パーセントの減少、豌豆は四三、〇〇〇、〇〇〇ピクルで昨年と大體同様である。蠶豆は四八、〇〇〇、〇〇〇ピクルで二四〇、〇〇〇ピクル、即ち一パーセント増加して居り、菜種は四六、四〇〇、〇〇〇ピクル、即ち四パーセントの減少と見積られて居る。一九四一年の小麦の收穫は戦争の四年間のうちで最低であるが、尙それは戦前七年の平均よりも二六、〇〇〇、〇〇〇ピクル多いのである。同様に菜種の豫想産額も戦前七年の平均よりも一〇、〇〇〇、〇〇〇ピクルの増加を示してゐる。

二、日常生活物資と物價

五二

奥地に於ける大ていの大都市に見る物價水準は著しく昂騰したにもかゝらず、國內住民の大部分が居住してゐる西支那の無数の小都市や地方部落に於ける物價は、過去四年の戦争に單に僅少な騰貴を示して居るのみである。重慶に於ける或る種の日常必需品の價格は、一般物價指數が現在、奥地中での最高に達して居るとはいへ、政府の統制下にあつて極めて安定を示しつゝある。

重慶、成都、昆明等の如き都市に於ける物價の動搖は主として宜昌の喪失と、國內の經濟學者の言ふ所によれば、支那の沿岸と奥地間の最も安價な輸送手段であつた滇越鐵道の壊滅によるものである。奥地の工業商品の配給制限も亦その強力なる原因として引用されてゐる。又主要都市の内外に於ける人口の集中、商人側の暴利獲得、蓄積の實施、又昨年四川では米穀産額が一九三九年の最高點より十二パーセント減少したことも、亦之等の地に於ける物價高に對する原因ともなつて居た。尙ほ之等の原因の一つとして同説によると幾分かは法幣の購買價値の低落を惹起したところの、戦争中に於ける銀行券流通高の増大のあることが附け加へられねばならぬ。

之等の都市に住んで不利に高物價の影響を蒙れる人々は、支那人の僅かに小部分である。之等の都市とその近郊は精々一〇、〇〇〇、〇〇〇の人口であることを考へると、それらは未だ西支那全人口の小率を占めて居るのにすぎないのである。地方の大多數の人民は、今尙ほ地方日常必需品の低物價を享受してゐる。

人口が充分に擴散して居る奥地の大部分における米は、業界の消息通の説によると、安價であるといふ。長沙の米

は、政府によつて一〇〇斤一ピクタルにつき十五元に定められて居る。一九四一年三月十五日、金華地方の食料統制委員會は、浙江省政府から、普通米を一ピクタル二五元に値上し、糯米を一ピクタル三三元に引上げてもらひたいといふ米穀商の申請を認めることを命ぜられた。湖北省政府は、一九四一年四月一日に、その省の日常必需品の價格表を定めた。當時の一般市場價格によると、米は一ピクタル四〇元、卵は一箇七分、野菜は一斤五分、豚肉は一斤一元一角、鶏肉は一斤一元二角で販賣せられて居た。大工或は石切工の賃銀は一日二元と定められ、一方註文制服の價格は裏地なしで五元、裏地で六元と定められてあつた。

或る種の日用品の價格は奥地の諸都市にあつては非常に高い様に思はれるけれども、多くの場合その平均は上海における平均よりも尙可成り低いのである。上海の平均はもつと何倍も高い。米を例にとつてみると、一九四一年一月二十七日には、重慶では一ピクタル一四一元、成都では一四五元、貴陽では六五元、西安では七二元、桂林では三九元三角、西寧では一一〇元、衡陽では三六元、洛陽では八〇元、甘州では六二元七角、福州では六四元、韶關では三四元七角で販賣せられた。同じ日に、上海では米は一ピクタル一〇四元で賣られたが、それは奥地十一都市における平均の一ピクタル當り七元一角よりも二六元九角だけの高値であつた。

重慶、成都その他の地の物價水準を調整せんとする政府の努力は、満足な成功をもたらした。重慶の米價は昨年の夏の民國食料管理局創設以來、二三の別の場合には二〇〇元とつけたこともあつたが、一四〇元乃至一六〇元の間に定められて來た。同管理局その他の關係機關は政府の使用人とその家族及重慶内外の貧民に多量の米を一ピクタル六二元で與へることに盡力して居る。政府の統制により、價格は一斤一〇〇元に定められて居た鹽についても、同様のこ

西部支那の近況概観

五三

とが行はれてゐるのである。

五四

經濟部の燃料管理局は重慶市場により安い燃料を供給しつゝある。木炭一〇〇斤に對する市價が二三元であるに反し、燃料管理局は僅か一七元三角で販賣して居る。より安價な日常必需品の配給は、政府の日常品供給委員會が取扱ひ、重慶市民のために沿岸の各省から多量に購入して居る。政府は同局に對して重慶及その附近の人民により安い商品に享受させるために二十萬元を支出して居る。最近財政部により國家專賣金委員會が組織されて居り更に四ヶ月後には日常必需品の專賣が強制される様になるであらう。

過去二、三年間にわたつて、政府農林部の農業調査局は、支那各地における農業生産物と、農村の状態とについて徹底的な觀察を行つた。奥地支那十四省にわたる八十六ヶ所の内、十五ヶ所からの最近の統計表によると、八年間の收入と支出にもとづく農業者の購買力は、事變勃發以來、奥地の最も農村的な部落において、軽い減少を示して居る。貴州、湖南、江西、福建の農民の購買力は、その統計によると、一九三三年から一九三七年に至る間に一般的に増加して居る。その他は同期において、増加したり減少したりして居る。

一九三七年を基礎として、雲南における一九三八年此の方の農民の購買力は、他の省では一般的減少を示して居るに反して、いくらかの増加を示した。一九四〇年では、ただ雲南、貴州の農民だけが前年以上の高度購買力を享有して居たのである。寧夏、青海、甘肅、湖北、湖南、廣東の農民購買力は、一九四〇年には低下した。一方、陝西、四川、江西におけるそれは變化がない。西康福建の農民購買力は増加、減少の兩方をしめして居る。大抵の場所では、農民は大都會の人民の様に不利な影響は受けて居ない。

三、工業製品

重慶政府の經濟部は、過去二、三年間における西支那の日用必需品生産の一般的増加を報告して居る。その顯著なものは石鹼、マッチ、靴下、石炭、麥粉、編絲であつて、一九三八年から一九四〇年の末に至る間に、生産高において四五乃至三〇〇パーセントに達する増加である。例へば、石炭の生産は二、五〇〇、〇〇〇噸にのぼつて居る。機械製編絲は三〇、二四〇から五四、一〇〇包に石鹼は九九、〇〇〇より三〇九、〇〇〇箱に、マッチは七、〇〇〇より一、七〇〇箱一函七、二〇〇箱入、木綿靴下は二〇、〇〇〇より五七、〇〇〇ダースに、麥粉は一、七一〇、〇〇〇より三、四〇〇、〇〇〇袋に増加して居る。西支那は、事變の過去四年間に互つて今や十一の工業中心をつくり出して居る。全部で二、三七八の新工場はますます大量の工業製品をつくり出し、民需と同様に、軍需用に資して居る。工場中には三六一の化學工場、三一三の機械工場、二九四の織物工場、九三の冶金工場、四八の電氣工場、及其他二六四の工場がある。

四、鑛業と鑛産資源

支那は江西、湖南、廣東、廣西を主なる中心として世界タングステンの六〇乃至七〇パーセントを産出する。その年産額は、一九三六年には七、〇五〇噸と見積られた。日支事變の勃發後は大増加が行はれたのである。一九三七年の産額は二六、五一八噸にのぼつた。一九三九年には支那は一〇、六九〇噸價格にして四四、六七四、九一二元を輸出

西部支那の近況概観

五五

出した。一九四〇年の最初の七ヶ月における輸出は、總額三、〇八〇噸で二二、七三二、七六五元に價するものであつた。米國輸出入銀行が支那の外國爲替の必要に應ずるために與へた二五、〇〇〇、〇〇〇米弗の對支借款は米國向タングステンの賣却で辨済されて居る。

米國は自國で生産する以上にタングステンを必要として居る。そしてその不足額を補ふためには主として支那に依つて居るのである。一九三七年に米國が輸入した四、七〇〇噸中約七〇パーセントは支那から來たものであつた。英國その他の國々に對する軍需品の促進的生產につれて、米國のタングステン需要は頗る増加して居る。

江西は支那の主なタングステン貯藏地の一つである。南部江西の埋藏量は總額四、〇〇〇、〇〇〇噸に達する。同省の年産額は五、〇〇〇噸と見積られてゐる。この中二、〇〇〇噸は初め吉安に設立されたが、後に軍事上の理由で移轉された。その工場は一九三七年に中國資源委員會の創立になるタングステン鑛業處によつて設立されたものである。他の省の生産は、廣東から四、〇〇〇噸、廣西から二、五〇〇噸、湖南から二、二〇〇噸、雲南より一、〇〇〇噸生産される。

アンチモンについても、亦支那は世界生産額の七〇パーセントを産出する。その年産額二〇、〇〇〇噸中、八三パーセントは湖南省から出るのである。最も大きなアンチモン鑛山は錫鑛山にあつて、月産額六五〇乃至八五〇噸を産する。この省の他の二ヶ所、新化、益陽には二、五〇〇、〇〇〇噸に見積られる埋藏がある。支那における強度爆發藥の主成分たる水銀の生産は重要なものとはされて居なかつた。しかし一九三七年以來、西洋、殊にアメリカ合衆國の需要に刺戟されて、支那は西南部における豊富な水銀資源の採掘を開始して居る。この事業を取扱ふものは貴州鑛業處

であつて、六十萬元を資本とし中國資源委員會と貴州の省溪縣の生産とによつて連合的に管理されて居る。これは水銀生産率を年約五〇〇噸に増加させることを目的に可成りの進歩をなして居る。水銀鑛山は貴州の省溪縣地方にある。

タングステン、アンチモン、水銀の新保藏地を設けるために一層努力せられて來た。これまでに利用し得るとして見出したものは、雲南ビルマ道路に沿つた南部地方や、貴州省の貴陽南西地方におけるアンチモンの採掘の可能性を示すものである。水銀の新保藏地は湖南省の鳳凰地方にある。

一九四一年の最初の四ヶ月間に、奥地支那は合衆國に、總額約七、五〇〇、〇〇〇乃至七、九〇〇、〇〇〇米弗のタングステン、アンチモン、錫を輸出して居る。タングステンの輸出は、一九四〇年の同期に比べると、今年は一五〇パーセントも増加して居る。この四ヶ月間に、總額三、一九二噸のタングステンがビルマルート、その他の出口から南西の海洋に向けて輸出されたが、それは已に一九四〇年のタングステン輸出總額よりも更に四一〇噸増加して居る。その全部は亞米利加金屬保藏會社が購入した。次の表は過去數年間に輸出せられたタングステンの總額を示す。

單位	噸(二〇四、六一ポンド)	ドル	價(内部支那公定レートにより換算)
一九三七	一六、五一七	一一、八〇〇、〇〇〇	
一九三八	一一、三三七	一四、九六〇、〇〇〇	
一九三九	一〇、六八九	一三、四四五、〇〇〇	
一九四〇	二、八七三	一、三〇〇、〇〇〇	

西部支那の近況概観

五、河川改良

五八

經濟部の淮河改修委員會は、北江蘇及安徽における淮河の船置場と大運河建造で得た経験をもつて、現在四川と貴州を流れる綦江烏江を改良しつゝある。この二水路の輸送能力増加は四川の鐵鋼工業に益、多量の石炭と鐵礦とを興へ、また西支那に對して安價な鹽、食料品、桐油、その他の産物を興へることを意味する。

綦江は、北部貴州の桐梓縣から流れ南部四川の綦江縣を通り、重慶の西の江津で揚子江と合するが、溢水、ダム、船置場、堤防の築造によつて今や運河化しつゝある。綦江縣内の一三五キロメートルの水路は、高水期の異つた三つの時期にあつては、三トンの支那船が航行し得たのである。しかしながら、この延長一三五キロメートルの水路に對し落差は一一五メートルもあり、殊に巖壁路に於ける三〇〇メートルの水路は七、五メートルの落差で、羊蹄峪に於いては一、〇〇〇メートルの水路に對し落差五九メートルもあつて、これが綦江の航行を非常に困難ならしめてゐるものであつた。

淮河委員會が一九三八年の始めに北江蘇から四川にうつた時、政府は同委員會に綦江の改良を命じた。依つて、一九三八年の春、測量隊が派遣せられ、綦江及其の支流の二〇〇キロの航行可能な水路に沿つて、流水、航行状態、岩層について研究した。一九三八年の十月、ダム、船渠堤防の築造を指導するために、一つの特別な事務所が設立せられた。今までに五つの溢水ダムや船置場が完成されてゐる。現在更に二つが築造されつゝあり、一九四一年と一九四五年の間に、更に十八つくられるであらう。

完成された五つの船置場の中、三つは綦江の支流浦江(音譯)上にある。それらは十六キロメートルの水路を運河とし、これによつて石炭、鐵礦、石灰、アルミニウム鑛は容易に搬出されることになつた。この三つの中最初のものは大智渠として知られ、四十五メートルの廣い溢水ダムと、長さ六六メートル、幅九メートル、深さ八メートルの船置場をもつて居る。之は一〇五、三八五日かゝつて一九三九年に完成され、二四九、四九一元の費用であつた。

二番目のものは大慈渠と名付けられ、幅五八メートルの溢水ダムと大智渠のと同じ大きさの船置場がある。一三九、八〇〇日を要し、三一九、九一四元を費して、一九三九年十月に完成した。第三の大勇渠は幅三六メートルの溢水ダムと、前の二つと同じ大きさの船置場を持つて居る。之は一〇二、一四八日かゝつて、一九三九年十二月に完成され、二七一、五四二元の費用を要した。たゞ日中のみ作用するとして、之等各々の船置場は日々九〇〇噸の収容力をもつて居る。浦江上における一九四〇年の輸送は六〇、〇〇〇噸に達した。

綦江本流では一九四〇年に二つのダムが出来上つた。第一の大誠渠は二重水門を有し水平面を一四メートルあげて居る。之は幅六二、九メートルの溢水ダムと、各々長さ六六メートルの二つの水門とを有して居る。二六二、三九一日を要し、九〇八、七二六元の費用であつた。第二は大嚴渠で、幅七五、八メートルの溢水ダムと、長さ六六メートル、幅七、二メートル、深さ八メートルの船置場をもつて居る。築造に一九四、〇九五日かゝり、六九二、〇四六元を費した。現在積載量五噸のジャンクが、この河を往復して居る。その収容力は一九四〇年には二二〇、〇〇〇噸と見積られて居る。更に二九ヶ所の浅い部分が浚渫され、ダイナマイトで爆破されて居り、或は二〇〇、〇〇〇元の費用で堤防を築造する等の改良が行はれつゝある。綦江改良の第一期に費した、總費用は二、六〇〇、〇〇〇元を超過して

西部支那の近況概観

五九

居る。しかして之を進行するには、以前は一ヶ月かゝつたのが、現在では僅か十五日を要するのみである。二ヶ所の峡谷で荷の積下しに要する費用だけでも、年六〇、〇〇〇噸の収容力に對し一噸當り三〇元と算定して、一年に一、八〇〇、〇〇〇元の節減額に達するのである。

行政部は水門を通過する荷積ジャンクに對して、五平方メートルの甲板の廣さにつき二元を課してゐる。空荷のジャンクは課税なしで通行することが出来る。政府所有の物品を輸送するジャンクには割引がなされるのである。一つの水門で料金を拂つた後は、ジャンクは同一航行上にある他の水門を、一定の時間内では、他に何も拂ふことなしに通行が出来るのである。船頭は之等のダムや水門を非常に喜んで居る。何故なら彼等は時間と金銭と勢力を節約出来るからである。綦江の運河化の究局の目的は、荷積載重三〇噸のジャンクが一年中航行出来る様に、少くとも水深二メートルの水を水路に保持しておくといふことである。この目的達成のためには、更に二〇の溢水ダムと水門が一三五キロメートルの水路に要求されて居る。六つの敷地が選ばれ一九四〇年の七月に仕事に着手した。材料と工夫の不足で四つの築造が中絶され、工事は二つのダムと水門に集中されて早期の完成を見んとして居る。残りの十八は一九四一年から一九四五年の間の第二期に完成されるであらう。終了の暁には輸送料金は一噸につき少くとも五〇元節約されることになる、之は一年二二〇、〇〇〇噸につき年六、〇〇〇、〇〇〇元となるであらう。鐵、鋼鐵の一部とセメントを例外として、之等のダム、水門の築造につかはれた材料は國産であつた。同委員會は一九四一年の初めに人造セメントに代用する國産の粘土と石灰石からポツゾラニツク、セメントをつくるための小工場を完成した、人造セメントについては、西支那はその需要に應ずるだけの量を産出しないのである。現在の經驗にもとづく委員會の報告

は國産ポツゾラニツク、セメントの好成績を記して居る。

淮河委員會は〇江の運河化の他に、烏江の改修に對しても、亦責任をとつて居る。一九三八年の十一月から一九三九年の五月の間に、その河の下流が一九五キロメートルにわたつて測量された。一九三九年の一月より一九四〇年の六月の間に、委員會は四ヶ所で岩を爆發させ、水上六〇、八四〇立方メートルの岩と、水中九、五八四立方メートルの岩を掃した。又廣さ一米、高さ三米の船路をつくるために、四三ヶ所で二〇、二二三立方メートルの岩を掘り出した。一九四一年の五月までに烏江の下流部は極めて良く改修せられたので、民新工業會社の一〇〇噸蒸汽船は涪陵から江口まで一〇〇キロメートルの間を進行して成切した。龍灘から涪陵まで一八九キロメートルの距離を往復するジャンクは、貴州、四川の間を、物品を運んで行くのに、危険に面することもなく、又時間と金銭を多く費すこともないのである。烏江の改修といふことは、四川の鹽を貴州、湖南に、湖南の米を重慶、東部四川へ輸送することに對して、特別な意味をもつものである。

資料情報

英 國

英國側より観たる獨逸の海上通商破壊戦

英海軍本部の發表せる一九四一年六月中の英

船喪失額

英海軍本部は、敵の作戦行爲より蒙れる英國等の商船の損害を左の如く發表した。この數字は一九四一年一月以降の最低數字である。

英國 船	五二隻	二二八二八四トン
與國 船	一九隻	八二七二七トン
中立國 船	八隻	一八二八五トン
計	七九隻	三三九二九六トン

この數字について左の如き觀察が爲され得る。

イ、樂觀無用——前記の數字は五月分の數字よりは大に低いが、この割合を以てすれば一年を通じての損害は約四百萬トンにも及ぶべく、脅威撃退を言ひ得るまでにはなほ至大

英 國

の努力を拂はねばならぬ。幸にして船腹補充力も敵作戦對應方法も進歩しつつあるが、これのみを以て判斷するは尙早である。

ロ、獨の揚言する英の損害——敵は上記の損害三二九、二九六トンに對して、その慣例の誇張規準約二倍半の數字八七六、七八三トンを主張してゐる。

ハ、獨の蒙れる損害——六月十日（一九四一年）より七月十日に至る間の拿捕、拿捕を免るゝ爲めの擱坐、撃沈一八〇、〇〇〇トン開戦以來の全損害概算額三三九一、〇〇〇トンこの數字の絕對正確を期し難きは、潜水艦又は航空機による攻撃の成果を確認し得ざるによる。

今後の定期發表取止め

（當局は前記の一九四一年六月の發表に左の如く附記してゐる。）——今後は敵の作戦による船舶喪失を定期發表することゝ止めるであらう。これはこれによりて貴重なる情報を敵に與

ふることとなるからである。然れども必要に應じては時々これを公表するであらう。(ロンドン・タイムス一九四一年七月十六日號)

定期發表の取止めは不得策 タイムス紙の社説 海上作戦の進展

海軍本部が公表したる昨六月中の敵の作戦による船舶の喪失數——アーチボルド・ハードの謂ゆる海上作戦の進展——によれば、昨六月中に於ける敵の商船破獲は七九隻、約三三萬トンの内英船三分の二である。これは甚大なる數字であるが、その中にも一機の曙光を認めしむるは、その一九四一年一月以來の最小の月額で、アレクサンダーが先週十二日に説明せる英國側の對照措置に若干の進歩を示せることである。これによつて前大戦の一九一七年四月に現出せしめたる如き英の海上作戦に一轉機を劃するを得は幸である。その果して然るや否やはなほ不明である。

敵に虚偽宣傳の機會を與ふる勿れ

政府は以後かゝる船舶喪失數の月次公表を止むべしとか、一般公衆は果してこれを容認するであらうか。蓋しあるまじき時期の末より二週間以上を経てから概數を以て敵の作戦成果を發表するも、その個々の場合の成功が何れの海面に又は如何にして實現せるやを暗示し得ないで、如何にしてもこれが爲めに敵の作戦を利することがなからうと考へらるゝに對して、定期的に發表することは、敵がいつもながらその戰果を誇明である。

るもなほ然りである。

護送問題の論議

この事實は輸出入品の輸送及び分配に密接の關係ある方面に於ては既に明白に認知されたるも、もし之に對して海上護送の制度を取りたる場合に於て、その前大戦の一九一七年に於て始めて實施せる際と同様なる效果を收めしむべきや否やについて、私的談話に於て稍注意を惹いたけれども、何等公共方面の問題とはならないかのやうに見える。

前大戦との比較

數字は必ずしも常に事の真相を語るものではないが、試みに護送制度下の前大戦と今次戦争とにつきて各々六ヶ月間を比較するに、一九一七年八月(この月より護送制度の完全實施に入る)より一九一八年(戦争最終)年一月までの全世界の喪失(五ヶ月間)約二、三五六、〇〇〇トン、昨一九四〇年七月より十二月に至る間の喪失(六ヶ月間)約二、三二〇、〇〇〇トン、今一九四一年一月より五月に至る間の全世界の喪失(五ヶ月間)約二、一八〇、〇〇〇トン、今一九四一年六月分として前五ヶ月間の平均數(四四〇、〇〇〇トン)を假りに補充せる同上より六月に至る全世界の喪失(假想六ヶ月間)約二、二五二、〇〇〇トン、大差なく且つ漸減せん。

以上の數より見れば、前大戦の一九一七年中の喪失と今次戦争のそれとの差は、一般に想像さるゝほど大きくはない。前大戦に於てその最終一九一八年一月以後、毎月の喪失の漸次減少

英 國

大して主張するを、世界に向つて是正確認せしめ、又共同の一般公衆及び軍國民に對して、その致命的の戰局局面を眞實に認知せしめるからである。與國人も共に不吉の報道に喜悅するものではないが、なほ隱微これ事とするの不安よりは優れりとするであらう。定期の發表に代るに不定期の發表を以てすることは、順調なるが如き外觀を以て逆勢を掩蔽するが爲めに、特にある時期を選んで云々の公表を爲せるものなりと宣傳する機會を敵に與ふるものもある。かゝる宣傳は固より否認し得るが、眞實の數字を公表する方が容易く國民をして信頼せしめ得る。政府の今回の定期發表取止めは固より試験的のことであらうから、その可否を検討する日の來るに際して、以上の社説を熟慮することが望ましいのである。(ロンドン・タイムス一九四一年七月十六日)

集團護送の成績

英海軍本部が、一般の期待するが如く、一九四一年六月中の英商船の敵の作戦によつて喪失額を今週中に發表するならば、こゝに一九四一年の前半期を通じての喪失狀態を評論し得るであらう。

年初來の大なる喪失

六月份の發表は姑く措いて既に發表されたる五月分までについて考ふるに、この五ヶ月の合計を以てして、既に開戦以來の何れの六ヶ月よりも多くを喪失してゐる、普通の海上通商とは無關係なるギリシャ戰、クリート戰による若干の喪失を除かす

せるは事實で、なほ今次戦争に於て大西洋の戰闘狀態は一變したがなほ、敵の活動が前大戦と同様に低下することはなからうと想像すべき理由はない。

敵に新しき戰術なし

併しこゝに注意すべきは、今次の戦争に於てこれまでに出現せる狀態に應じて取り來れる護送の方法は、始めてこれを採擇せる際と殆んど同様成功したのであつて、最近六ヶ月前より蒙れる喪失は、何等敵の新しき戰術採擇の爲めなりと想像すべき理由はない。

單獨航行許容論とタンケル戦

こゝに説を爲すものがある、須らく前大戦の護送制度採擇前の方法に復歸して、現在實施し居れるよりも更に多くの船舶を單獨航行せしむべしと。この説はこゝに海商の經驗ある人々から聞かれる。ドイツの海軍參謀本部も、「昨一九四〇年の夏より初秋にかけ、事態の急迫に迫はれて、多數の船舶の單獨航行を許せること」を、今となつては多分充分に知つてゐるであらう。蓋し當時英海相も説明したやうに、タンケル戦の爲めに驅逐艦六七十隻を戦列より後退せしめたるが爲め、需品供給線保持の爲めにも充分の護衛艦を附するを得ず、單獨航行を許すの危険を冒したのであつた。

喪失の多かりし月と船型

更にこゝに注目し得るは、(イ)昨一九四〇年の七、八、九十月の四月が凡て喪失の大なりし月なること、(ロ)その中ある時期

に於ける撃沈英船の平均トン数が五、〇〇〇トンなりしこと、及び(ハ)單獨航行を許すことの最も多かりしこと等であつた。

護送方法の安全なる所以

護送方法による安全は門外者も認知するが、編隊船の航行指揮の割合に容れ得ることとは多く認知されない。一高級将校の指揮する三四十隻の一護送隊も、その航路の附近に一航空隊にせよ、潜水艦にせよ、機雷にせよ、苟くも新に危険の兆候あることを察知すれば、直ちに無線信號を以て安全なる方向に轉針せしめ得る。もしこの三四十隻の船をそれぞれ單獨航行せしめるとすれば、その一つ一つに警報を與へねばならぬ。廣く諸海洋に散在せるかゝる多数の船の位置を一つ一つ明白にすることは到底不可能であり、重要な警告も個々の船に於て實行し難きことが屢々あらう。

滅燈單獨航行の危険

或は云ふものがある。滅燈して夜間集團航行する船舶は、相互衝突の危険が多い。然り、今數字を以て公表し得ないが、この考へは誤りではない。然れども滅燈、單獨航行の船舶の衝突の比率は、集團護送隊のそれよりも高い。前大戦の第四、五(一九一七、八)兩年中集團航行せる船舶一六六、九三三隻中、普通の航行事故によりて喪失せるものは一六隻に過ぎなかつた。

集團護送は最良の方法

船主、船員、海軍將校とて特に護送制度の實行を好む譯ではない。敵の種々の通商破壊作戦に對應し得る何等かのよりよ

き防護方法さへ發見し得るならば、何人と雖これを採擇するに躊躇せぬであらう。併し極めて小數なる一部の人の外は、集團護送以上に確實なる海商保護の方法あることを、事實によりて確信するに至らない。(マンチエスター・ガーヂヤン一九四一年七月十四日號)

米國側の認識と敵船の撃沈

マンチエスター・ガーヂヤン社説

近來の敵の活動閉塞と、その原因

英國の商船の喪失額は先月に至り減少した。これは他の事項と併せて、ヒットラーがその大西洋作戦を意の如くにし得ざる證據である。去る二月ヒットラーは揚言した、「吾人の海上作戦は間もなく活氣を呈するであらう」と。又云つた「吾人は我が新しき潜水艦乗員を訓練せんが爲めに、暫く海上活動を制限せざるを得ざるも、三、四月以後に至らば必ずや敵國側に思ひ知らしめる所があるであらう」と。その三、四月は來た、而してその始めに於て、大西洋に於ける英商船の撃沈數は激増したが、以後再び減退し、敢て増加を見なかつた。詳言すれば三月及び四月に於て共に躍進したけれども、四月の數の大なるは、ギリシヤよりの撤退に當り喪失せる數の大なるが爲めである。その後の五月の喪失數にはクリート島戰の大損害を包含する筈であるが、同五月は英首相チャーチルも云へる如く、大西洋方面に於ては數ヶ月來の損害最輕微の月であつた。更に六月に至つては、一九四一年一月以來、凡ての海面を通じての損害の

最輕微なる月であり、又昨一九四〇年十二月と今年一月とを除けば、過去一ヶ年間の損害最小の月であつた。これは敵も恐らくは豫想外の不成績であつたらう。何となればヒットラーはその兵力を他方面に轉用したとは云ふもの、敢てこの方面の戦闘の休止を默認したわけでもあるまい、その利用し得る限りの水上飛行機、潜水艦にあらゆる活動を爲さしめたのであらうから。逆に云へば敵の活動の閉塞は、(イ)英が護送隊の護衛艦に大型艦を使用することを増加したること、(ロ)敵潜水艦の根據地を根氣よく爆襲したること、(ハ)敵潜水艦の驅逐にヨリ多く成功したること、(ニ)哨戒飛行の擴大等、而して又(ホ)米國の哨戒隊の援助によると認め得るであらう。而もなほ不明なのは、これらの措置の爲に、英の商船航行の危険海面が何等かの増減、變化を見たかどうかである。米國側の時評者は云ふ、北大西洋をヨリ安全ならしめたる結果、ドイツ側は北大西洋に於ける成功を比較的増大したと、その果して然るや、今なほ憶測の範圍を出でない。

流官防止と對米關係

海軍本部は、今後、英商船喪失の定期發表を止めて必要に應じての不定期發表とすべしと。しかもこれが週々の發表を改めて月々の發表としてから間もないことである。この週額發表より月額發表への變更は、月額發表が以後著るしく訂正することを必要とし、月額發表すらも、以後の情報により同様に訂正されることを免れざることより見て、一應理由のあることを理解

英國

し得るけれども全く發表を止むるに至つたのは、殆んどその理由を發見し得ない。或は云ふ、英の發表は敵に情報供給すると。併しこの發表中止は敵の發表を止めしむるに足らないのみならず、却つて敵の想像力を刺激することとなるであらう。且つ又世界をして彼我兩國の發表を比較検討し得しめず、ドイツ側の發表にのみたよらしむることとなるであらう。英人はなほこれを耐へ得るであらう。それは當局の統計隠蔽には漸次慣らされて來たから。けれども對米關係より見て如何なるものであらう。大西洋上の損害については爲し得る限り明白ならしむることが肝要ではあるまいか。隠蔽によりて、悲觀樂觀、種々の流言を横溢せしむることとはならないであらうか。船舶喪失についての米國の最近の論争を見る者は、益々その論議に正しき方向を取らしむるの必要を感じないであらうか。米國が大西洋作戦につき現在以上に更に完全なる協力を英に與ふる日まで、明白なる發表こそ最賢明の策でなければならぬ。

なほ一つの米國側の認識不足

英の船舶喪失額は人々の懸念せるほどに大でないとしても、到底英の耐ゆる所ではない。英、米、兩國の造船力を以て充分なる補填を爲し得る日はなほ幾ヶ月かの後であらう。英國にせよ、將た又米國にせよ、この状態を輕々に看過して、生産増充や船舶の運用を弛緩せしめ、非必需品の輸入制限を憚せしむるが如きことがあらば、その禍實に計るべからざるものがある。原料品、食料品を運送する船舶に比して軍需品を運送する

船舶の喪失の少なきことについては、米國側に於て既に認識を誤まつてゐるが、兩者の共に必需なることについては決して甲乙のある筈もない。もし何等かの幸運によつて、大西洋上の喪出額をかりに半減し得たとしても、英の船舶建造、船舶保護の必要は依然として存するに相違ない。

敵船の撃沈も亦大

唯こゝに非常な満足を得る計表がある。即ち敵國商船の撃沈数の引續き多数を維持することである。敵の生命線たるリビヤ航路、大洋上の樞軸の不定期船も固よりその中にあるが、更に大なるは北海上の長き海岸線に隠れて港より港へに出没する敵船である。この航路は敵の鐵道及び國內水路輸送の大なる補足力であつて、且つ又英の敵鐵道の爆撃によつて益益重要さを加ふるものである。英が若しハムブルグ・ブレイメンの如き敵の大港を破壊し去り、且つ又佛、蘭の諸港を間斷なく爆撃し得るならば、敵が上記の沿岸航路よりする物資の充足は大に減少するであらう。戦争のこの局面はその成果に見察えなしとするも、實績は欺むことが出来ぬものである。(マンチエスター・ガーヂャン一九四一年七月十六日號)

英の樞軸國側商船攻撃は漸次成功を増しつゝあり、公表される、所によれば一九四一年七月十日までに拿捕、撃沈し、自沈せしめたるもの通計三、三九一、〇〇〇トンに及ぶと。この敵の喪失増加は、敵が海岸輸送の爲海運を利用せざるを得ざるによるもので、英航空隊が敵の鐵道交通を妨害すること多ければ多

いほど、敵は海運にたよることが多くなる。而して又これによりて對露戰の爲の原料品、軍需品を輸送することが困難となるであらう。樞軸のリビヤ、イタリヤ間、その他の地中海航路上の喪失も同様に重大である。(同紙同日號の雜報)

國民營養問題の現狀

國民營養良好の現狀

最近の統計その他の發表によれば、英國國民を通じて何等營養不足の兆候なしとのウールトン食糧大臣の斷言は充分に確認し得、且つ啻に體力を維持し居れるのみならず、更に健康をも増進し居れる由にして右の進歩が何れか特定の年齢階級の人々に止まらず、全般的なりとは、愈、吾人の意を強うするに足る。我が軍隊に出征せる壯丁の訓練と屋外生活とがこの國民體位の向上に有利なりしは固より論なきも、これは決してその唯一の原因でもなければ、主要の原因でもない。必ずや國民に供給せる食物の分量的に豊富なりしこと、及それにも増して質的に優良なりしことを以てその原因とせねばならぬ。然し、我が國民の供給されたる食糧は、衆口の一致する如く、その營養價に於て充分にして、又その種類の變化に於ても適當であり、減少して却つて有益なる物品に於ても不足の聲を聞いた。たとへば、砂糖の供給は減少したが、エネルギー發生の要素や、身體構成の維持に必要な物質は不足する所がなかつた。前大戦には往々體重減退の實例を見たが、今次の戦争にはその多くを認めな

い。のみならず、兒童に於ては、各年齢群共眞に健全にして體力ある兒童として適當なる體重、體格の發育を示した。

食糧省の任務と國民の呼聲

然れどもこの國民の健康も體力も、共に將來適當なる休養補充を得ずして、消耗を累加するの危険なしとは云ひ難く、こゝに於てかたゞに食料品の單純なる計數的均等なる分配に甘んぜずして、國民をしてそれらの任務を果さしむるに足るべき分量、變化、品質に於て共に間然する所なき食料品を國民に確保することが食糧省の任務となり、またよくこれに呼應して、入手し得る食料品を充分に活用し、又その嗜好、習慣を簡單に調節すること、國民の義務である。

政策と實踐

ウールトン食糧大臣は必要の爲、更に大なる困難にすら打ち勝つた。即ちあらゆる食糧學者が必需食糧として、最大額の供給を要求しつゝあるにも拘はらず生産の減少を豫測される牛乳を、嬰兒、その他眞にこれを缺き得ざる者に支障なく

配給せることである。これらの者を牛乳の獲得に優先せしむることは眞に國家的に重要なことで、この優先を全からしむるが爲に、その他の者の欲求を他に誘導し、又は家庭食事に於ける代用品の供給を完全にするとも亦齊しく肝要である。この牛乳と鶏卵との家庭に於ける營養採取上の位置は固より重く、代用品を以て辨ずることは容易でなく、ことに牛乳はポリツヂ(粥)に缺き得ない。ウールトン食糧大臣は國民をして、食糧省が食料品の分配の統制に急にして、その増産を疎にせるに非ずやを疑はしめながらも、現在、將來とも國民の信頼を繋ぐの賢明なるを知つて、(イ)吾人はその必要とする凡ての食糧品を蓄積し得、(ロ)脂肪の供給は米國の援助を得て不足なきこととなれり、(ハ)戦争は更に深刻とならんも、充分の食糧對策を有すと最近聲明せるは、極めて心強い譯ではあるが、ただに彼の行政手腕や政策の巧妙なるを賞讃するに止まらず、更にその成果を擧げうる様實證することが望ましいのである。(ロンドン・タイムス紙一九四一年八月二十日號)

合衆國

一九四〇年國勢調査の概観

一九四〇年一九三〇年に比し

合衆國

合衆國(屬領及準州を含む)總人口

.....二〇,〇三三,三三三

八・八増

合衆國大陸の總人口……三、三六九、七五七

七・二%増

人口の増加せる州……四二

〔中増加率の大なる州、フロリダ(一九二〇%)及ニューメキシコ(二五・六%)〕

人口の減少せる州……六

〔中最も減少率大なる州、サウス・ダコタ(七・二%)〕

人口数一〇〇、〇〇〇以上の都市九二 一都市減少

〔一〇萬以下に下つた都市……El Paso(Tex.)、Lynn(Mass.)、Evansville(Ind.)〕

〔一〇萬以上に増加せる都市……Sacramento(Cal.)、Charlotte(N. C.)〕

一〇萬以上の都市九二の中

(35.6%増)

一九三〇年に比し三五%以上増加せる都市三……Miami San Diego(37.4%増) Washington(D. C.) (36.2%増)

最も人口減少率の大なる都市……Jersey City(4.9%減) Elizabeth(N. J.) (4.1%減)

合衆國農村人口 五七、四五五、七三三(國民の四三・五%)

中農業人口 三〇、一五〇、七六六(國民の二二・九%)

都市人口の割合が最も多い州……ロード・アイランド(都市生活者九一・六%)

農村人口の割合の最も多い州……ミシシッピ(都市生活者九一・八%)

農村及農業人口……テクサス(農村人口三、五五五、五五五人) 数の最も多い州(農業人口二、〇〇〇、〇〇〇餘り)

合衆國大陸の人口密度 一平方哩當り四四・二一人(一九三〇年は四一・一人)

最も人口稠密なる州 ロード・アイルランド(六七四人)、ニュー・ジャージー(五五三人)

最も人口稀薄なる州 ネヴァダ(一人)

合衆國の世帯数 三四、八六一、二六五(一九三〇年に比し一六・六%増)

一世帯平均家族数 三・八人(一九三〇年四・一人)

一都市の平均家族数 三・六人(一九三〇年四・〇人)

農村の平均家族数 四・〇人(一九三〇年四・三人)

アメリカ人の平均年齢 二九年(一九三〇年二六・四年)

アメリカ人の平均壽命 六二・五年(一九三〇年五九・三年)

合衆國の工場施設總數 一九三九年一八四、二四四(一九二九年に比し一〇・九%減少)

合衆國の全工場の總生産價額 一九三九年五六、八二九百萬ドル(一九二九年に比し一六・六%減)

最大工業は自動車工業であり、その雇附者数は四〇〇、〇〇〇人その生産價額は四〇億ドルを越す。

合衆國の卸賣施設總數 一九三九年二〇〇、五七三(一九二九年に比し一八・八%増)

卸賣販賣額一九三九年五五、二六五、六四〇、〇〇〇ドル (資料Business week August 29, 1941)

小賣食料品店 六二世帯に一つ
小賣衣料品店 三三六世帯に一つ
藥品店 六〇二世帯に一つ
ガソリン、スタンド 自動車所有者 二二八人に一つ
(資料Business week August 29, 1941)

佛 國

自由フランスの植民地

英側の喧傳するド・ゴール政権の資源

自由フランス運動はフランス復興の象徴であり、これに従ふ者は死中活を求めんとするフランス精神を宿してゐる。フランスの名譽と面目とを再建せんとする努力は既に高まつてゐる。それにしてド・ゴール政権は物質的には、聯合國側に如何なる程度まで貢獻してゐるであらうか。

自由フランスの植民地

自由フランス軍がアフリカ、中東に於て華々しく戦つたことは何人も知つてゐるが Croix de Lorraineの傘下に集まつた諸領土が、この戦争に如何なる役割を演じたかを考へる者は少ない。ド・ゴール將軍に呼應して今までに自由フランス運動に参加した植民地は左の通りである。

佛 國

太平洋方面

The New Hebrides

The South Sea Islands

Tahiti

New Caledonia

インド海岸フランス領地

アフリカ

フランス中部アフリカ

Canaries 委任統治領(廣さ、百萬平方マイル、大ブリテンの十一倍以上。)

中東方面

シリア、レバノン委任統治領(兵力を以て獲得)

これらは凡て聯合國側の貿易差額調節に資し、又兵力を加へ

て、吾人の勝利の一分野となりつゝある。

二つの協定、一つの目標

英、佛、兩國は、ド・ゴール將軍が英國に上陸して、漸次有力なる兵團を結成せんとする愛國運動に乗り出してより、英佛同盟の理想を強化することに努力し、更に今一九四一年の三月に至り、英政府とド・ゴール將軍のフランス帝國國防會議とは左記の二つの協約を締結した。

イ、自由フランス軍の経費を支出するに要するクレヂットの設定。

ロ、大ブリテンと自由フランス帝國との間に設定すべき財政的協力の基礎の確立。これによりて(一)兩國の爲替比率を調節し、且つ(二)ドイツ政府との絶縁により喪失せる植民地物資市場に代替すべき市場の決定。

兩署名者はフランスの植民地事項に干渉する外観をすら避くることによりて、ゲッペルス獨宣傳相の何等の非難をも容るゝ餘地なからしむることを特に努めた。兩署名者の一つの目標は自由なるフランスを擁護することに存した。

財政、貿易、自治、自給自足

ド・ゴール政権の國防會議は、各植民地の財政を監督し、且つ要すれば一つの植民地の餘剰を他の植民地の不足を補填するに使用する。これらの制限を除いては、各植民地は各自の輸出に對する外國爲替及各自の全生産を自由に使用し得、取引成立の上は、四十八時間以内に輸出又は輸入の許可を得、輸入者は相

當額をフランス貨を以て拂込むと共に、自働的に相當額のスターリング貨を自由に處理し得る絶對保證を獲得する。これらの諸邦の購買は凡てスターリング貨地域内に於てし、同地域内に於てはスターリング貨又は米國ドル貨を以て自由フランス帝國の生産物を購買する。これらの植民地は自治、自給自足で、英政府は戰爭遂行の爲設定せるクレヂットの支出についてのみ協議に應ずる。

ド・ゴール政権と諸植民地

自由フランスの諸植民地は、自由の爲に戦ふべく、經濟的にそれらの役割を演じつゝある。ニュー・カレドニア、タヒチ(南太平洋)の如き小島すら、そのニッケル鑛、鐵鑛、燐鑛、クロム、等を本國に輸出して、聯合國側に協力しつゝある。中には最大の貢獻を爲すはフランス中部アフリカである。

中部アフリカの境域

フランス中部アフリカはリビヤの南、E. Soudan 及 Biafra 兩地区に互り、アングロ・エヂプトシヤン・スーダンとフランス西アフリカに面し、コンゴ河口に及び、諸植民地を包含し又カメロン委任統治領を含む肥沃の土地で、フランス植民地のド・ゴール政権者に統治せられ、その中にもこの地方の諸總督中、フランスの不撓、不屈の闘志を最初に認識せしめたる佛領ギアナ出身エプーエ氏を見る。

中部アフリカの産物

この地方の主要産物左の如し

北部—家畜、混合パター

CE 地方(全フランスより大)—皮革

南部—綿實(本一九四一年の收穫六萬トン)、棕櫚油、棕櫚核、人造パタ用落花生

Galiooa 地方—材木(平年の輸出四〇萬トン)。

Cameroon 地方(大に肥沃、アフリカ諸植民地中最も早くド・

ゴール政権に呼應せるもの)——コ、ア、コ、ヒ、錫鑛、金鑛(不完全なる設備を以てしては毎月三〇〇キロを産出し、一部を南アフリカにて精鍊してドル貨に變形す)。

英國との貿易協定

一、英側の購買(年額)

コ、ア(一四、〇〇〇トン)

棕櫚油(五〇、〇〇〇トン)

コ、ヒ(五、〇〇〇トン)

バナナ(一四、〇〇〇トン)

二、自由フランス側の購買

紡織品(マンチエスター綿製品その他)

機械類

藥品類

無線電信、電話、電氣機械類

統治者と兵力

自由フランス植民地帝國はその現在人口の十倍を收容し得、統治状況は良好である。高等辨務官ド・ラミナナ將軍と教化

佛 國

指導員、全白人黒人郡縣政治顧問、醫學博士シセ將軍とは、相呼應してこの中央アフリカを自由フランス國の藩屏とした。而して又この地方を防禦する兵團はアフリカ軍の精粹であり、ヂヤンダークやベタンを出したフランスの意氣に燃ゆる植民者、開拓者、豫備軍青年を世界のあらゆる部分より集めつゝあり、裝備も良好、士氣も旺盛、指揮も卓越してゐる。

戰略上の要點

この佛領中部アフリカにしてみればドイツの手に落ちたらんには、(イ)英帝國、自由フランス聯合軍が、アビシニヤ、伊領東アフリカに於て擧げ得たる戦果も有終の美を擧げ得なかつたであらう。(ロ) Chad 地方にして萬一ドイツに奪取されるたらんには、英國は南アフリカを脅威されたであらう。又インド洋を隔ててのインドとの交通も脅威されたであらう。(ハ) Brazzaville のドイツ軍は早くベルヂック領コンゴを征服し、南アフリカの不逞分子、不逞分子と氣脈を通じ得たであらう。

幸にも(イ)果敢なるフランス同胞が昨一九四〇年の八月二十六、七、八の三日に於て、中部アフリカの八々を聯合軍側に誘致し得たればこそ、英國の中東向け飛行機は、ナイヂエリヤ、チヤッド、兩地方の捷徑をとり得、又自由フランスの多くの戰略的進路と共に、英國より供給せる資金を以て建設せる飛行場を利用し得るのである。このチヤッド地方は樞軸側のスエズ運河作戦及ダカール占領企圖に對應すべき重要基地である。

シリヤの形勢

シリアに至りてはその聯合軍側に物質的に幾何の寄與を爲すべきかを計測することは尙早であるが、この農業國は未開拓の多くの富源をもつてゐる。聯合軍はこれに對する作戦を完了して、大にその近東、中東に對する戰略を強化した。もしこれを爲し得なかつたならば、敵はスエズ運河、紅海に對する脅威を今なほ持続したるべく、又トルコに對して南方より之を包圍し得

ソ 聯

ソ聯邦の労働豫備軍

はしがき

一昨年にソ聯邦に於いて熟練労働者養成のため國家労働豫備軍の創設に関する法令が發布せられ、之が實施に取り掛つたことは、當時わが國にもよく紹介せられたところである。以下紹介するところの二つの資料は、いづれもこの問題の最高責任者ソ聯邦人民委員會議直屬國家労働豫備軍局長官モスコトフの口と筆となるものである。即ち一、は本年二月の第十八回黨代表會議に於ける演説であり、二、は本年十月二日アラウダ紙に發表せられた一周年紀念の論文である。又この二つの資料が獨ソ戰の開始の前と後に分れて發表せられてゐる點も

七四

たであらう。サイラスも安全でなくなつたであらう。アンカラ、テヘランに於ける英國の制壓も失はれたであらう。以前にヴェイシー政権に屈從せる多くの兵士、官吏等は共に、今やド・ゴール派のカトリック總督の傘下に入るべき形勢を示してゐる。(ロンドン・タイムズ紙一九四一年八月二十日號)

興味あるところである。

二つの資料から、われわれの知り得た點の最大なるものは、一、ソ聯では労働豫備軍の養成のために一九四一年度に年額四十二億ルーブルの巨費を當ててゐること
二、獨ソ戰の開始と共に修業年限二ヶ年を最大限一ヶ年に短縮すること
三、
スターリンは黨中央委員會七月總會に於いて、黨及び國家の前に、工業と運輸のために、國家労働豫備軍の創設の問題を提起した。スターリンは、わが工業の擴充の課題は、新しい労働力が炭坑へ、鑛山へ、運輸へ、工場へ絶えず流入することを必要

とし、而して労働階級の成員が不斷に充實せられることなくしては、わが工業の成功的發達は不可能である、と指示した。

スターリンのイニシアチヴにより、一九四〇年に黨、政治、各種の經濟、社會機關の努力によつて、國家労働豫備軍の養成のために、工場實習學校、職工學校、鐵道實習學校の廣泛な學校網が組織せられ、之等の學校には都市及コルホーズの青年六十萬人以上が徴集せられたのである。

今後三ヶ年に工場實習、職工、鐵道運輸の各學校は、工業・建設・運輸に對し、熟練労働者と大衆的職業の労働者を三百萬以上供給しなければならぬのである。

工業實習學校の第一回卒業によつて石炭工業は労働者六萬人、製鐵工業は労働者四萬人、石油工業は労働者二萬五千人を得べく、又工作機械製造工業には二萬人、鐵道運輸にも同じく二萬人、非鐵冶金工業には一萬人、建設工事には十萬人の労働者が夫々供給せられるに至るのである。

至ソ共產黨中央委員會議にソ聯邦人民委員會議の決定により、ソ聯の中部及南部地方の木材工業のために、一九四一年に、修業期間三ヶ月の特別組織の工場實習學校に於いて、大衆的職業の労働者十萬人が養成せられることになつてゐる。

ソ 聯

工場實習學校及び其の他の學校の指導的業務へは、黨機關によつて短時日の間に約三萬五千の指導員が派遣せられた。而して指導員三萬五千人のうち二萬五千人は工場教育の職長(マステル)である。

七五

すべて此のことは、黨と政府、特にスターリンとモロトフが工業及運輸のための労働豫備の養成に就いて拂つてゐる絶大な

注意を語るものである。

この養成教育の最初の経験は、スターリンのイニシアチブによる労働者養成の新形式が全く正しかったことを示している。

ドンバス、ボドモスクワ(モスクワ近郊)炭田、「シブウーゴリ」(シベリヤ炭田)の工場実習学校の生徒達は、生産教育の過程に於いて、すでに六萬トン以上の石炭を採取してゐるのである。

冶金工業、建設工事、金属加工工業でも、生産教育に於いて、良好の成績が得られた。

多数の学校が、生徒の生産教育の過程に於いて、企業の実産注文を送行し、各種の製品・器具・生産設備を製作してゐるのである。

しかしながら、私は、工場実習学校や其の他の学校に於ける生徒の生産教育の組織の中に未だ多くの缺陷と穴の存する事實を指摘しなければならない。

工場実習学校や其の他の学校の中には次のやうな学校が少からず存するのだ。即ちそれらの学校に於いては、生産教育は十分に組織せられてゐず、生徒は仕事の正面、材料、器具を適當な規模に於いて保證せられてゐないのである。

生産教育に於ける不備は、オリョール、スモレンスク、クルスクの各州及び部分的にはイワノフヴォ州の建設実習学校に於いて見られる。

又、工場実習学校、其の他学校の總べてを通じて、適切な教育・生産規律はまだ設定せられず、生徒の政治教育と文化的日當的奉仕の形を整へてゐない。

總べて以上のことは、總局を含めて、労働準備管理の仕事の中で、明瞭な指導と、工場実習学校及其の他学校のノーマルな仕事に關聯した諸問題の實行的解決とが、まだ十分に組織せられてゐないことの證左である。

最近、党中央委員会は『職工学校、鐵道学校及工場実習学校に於ける下級黨組織に就いて』といふ決議を採擇した。この決議は、工場実習学校及其の他学校の黨組織に對し生徒の生産教育の改善の部門に於ける廣汎な活動範圍を保證し、学校で働く黨員の責任を高めるものである。

生産教育の学校長、職長、学校の黨組織は、生産教育の過程に於いて金属や木材の各一片から國民經濟にとつて必要な製品が作られるのだ、といふ風に問題を提起しなければならない。

次に、右に劣らず重要な問題は、生産教育の過程に於ける明瞭な技術的規律の設定とその仕事の技術的指導の改善である。特別な注意が、工場実習学校其の他学校に於ける單獨責任制の鞏化と生産教育の職長並に古參職長の役割の向上に拂はねばならぬ。グループに於ける學習を正しく組織し、職長の技術的準備の向上のために執拗に努力し、彼等を新技術と作業の新手法の知識によつて武装せしめるために、力を惜んではならぬ。

生徒の政治教育には不斷の注意を拂ふ必要がある。政治部門による学校長代理は、学校の黨組織と協力して、生徒の政治教育に關する仕事をポリシエツキ的に組織しなければならない。

しかしながら、工場実習学校其の他学校へ政治部門による校長代理が赴任すると共に、黨の地區市委員、共產青年同盟、労働組合は生徒の間に於ける政治活動を免除せられるものと考へるならば、それは正しくない。黨、共青、労働組合の諸組織は、今後に於いても、工場実習学校其の他学校の生徒の間に於ける政治・教育活動に對し注意を弱めることがあつてはならないのである。

同志諸君！工場実習学校、職工学校、鐵道学校は總べての黨・ソヴェエト・經濟・社會機關の協力によつて創設せられたのである。工場実習学校其の他学校の圓滑な業務の保證は、經濟諸機關、黨の州、地方委員、勤勞者代表議員ソヴェエトの執行委員の側からの日々の援助と配慮なしには考へられないのである。

ところが、何處かの經濟機關のうちには、工場実習学校其の他学校への注意を怠つた者があつたし、又甚しきに至つては、之等学校に於ける生徒の生産教育のノーマルな進行の保證に就いての配慮から完全に手をひく企圖を抱いた者もあつたのだ。

例へば、ハリコフ・トラクター工場、ドネープロスターリ(ドネーブル製鋼所)、ウラル車輛製作所の各工場長は、設備・材料

の賣却・交換・引渡しの禁止令に藉口して、工場実習学校其の他学校を法外の組織と見做し、工場の註文の履行のために材料・器具を学校に供與することを中止してしまつた。又、ケルチ造船工場やオルジョニキーゼグラードの綜合工場「クラスヌイ・プロフインテルン」の幹部は、人民委員會議の決定に反して、工場実習学校其の他学校の生徒用食堂に對する燃料供給を中止した。

党中央委員會議は政府は、一九四〇年十二月二十八日附決定によつて、各人民委員部に對し、六月に工場実習学校を卒業する新労働者の引取りに適當の準備をなすこと、彼等のために住居を準備すること、命令を發した。ところが、總局の手にきた資料によれば、多くの人民委員部がこの仕事にまだ着手してゐないことが斷定せられる。

次回の徵集に慎重な準備を行ふことが必要である。現在すでに組織的・大衆的仕事を全面的に展開すべきときである。青年の次回の徵集は前回に比して一層組織的に、黨・政府の決定せる期間中に間違ひなく行はなければならない。

工場実習学校、職工学校、鐵道学校の仕事の中に存する缺陷を除去し、生徒の生産教育の質の向上のための闘争へ總べての關係者を動員することによつて、われわれはわが工業と運輸のために、スターノフ労働の高い模範を與へ、第三次五年計畫第四年度の國民經濟計畫の遂行の成功的参加者となり得る如き要員を養成することが出来るであらう。

本日はソ連邦の國家労働準備に就いての指令がソ連邦最高會議幹部會によつて發せられた一周年記念日である。

職工學校、鐵道學校、工場實習學校の仕事の一ケ年は、わがソヴェト青年の間から國の労働階級の要員を立派に補充する計畫的養成の偉大なる力を眼のあたりに示し、一九四〇年に國家労働準備の創設のイデヤを掲げたスターリンの天才的烟眼を證明した。

一ケ年の間に、國家が工業と運輸の大宗的職業の労働者や熟練労働者の養成のために職工學校、鐵道學校へ徴集した人員は一三六萬五千人であつた。一九四一年の第四四半期に於いて、前記諸學校へは尙ほ新しい青年部隊が徴集せられるであらう。學習はわが青年達に對し、類例のない短期間に、冶金、石炭、建設、石油の諸工業、鐵道運輸、通信及び其の他の國民經濟部門に於ける生産の専門技術を學校で修得する可能性を與へた。

尙ほ戦前、前記諸學校はわが工業並に運輸に對し合計二十五萬人の青年労働者を供給した。此の二十五萬人の労働者のうちには、石炭及び鑛山關係労働者四萬九千人、建設關係労働者十萬一千人、各種専門の鍛冶工四萬一千人、工作機械工一萬二千人以上、冶金關係労働者七千人、電気瓦斯鍛接工五千人以上、鐵道従業員一萬四千人以上、等が含まれてゐるのである。木材

工業、建築材料工業、鐵道建設も亦青年労働者の特記すべき補充を受けたのである。

本年の八月九月中に職工學校からは期間前に、四萬二千四百人が卒業し、工場實習學校からは同じく二萬人以上が卒業した。

生産教育の過程に於いて前記諸學校の生徒は、この一ケ年に、少からざる物質的價値を創造した。彼等は數百萬トンの石炭を與へ、數萬トンの石油を採取し、數千トンの良質金屬を精鍊し、數千の新生産家屋、住宅、船及船舶を建造した。職工學校や鐵道學校の生徒は價格數千萬ルーブルの度量計、截斷器、旋盤機、創製機、等を國家に與へたのである。

數千の若い坑夫、旋盤工、建築工は労働生産性の部門に於いて高い成績に達した。モスクワ第十四職工學校の青年旋盤工モルコフキン、イルミノ炭坑に於ける優秀な坑夫ニコライ・ピドゥセンコの名は、わがソヴェト青年のプライドを呼び起す。彼等は連日に互つて基準を三、四倍も遂行してゐるのだ。

黨と政府は、國家労働準備の制度に對し、國家的に重要な任務——即ち、嘗つての如何なる時代にもまして戦争の行はれてゐる現在に於いてわが工業と運輸が必要とする青年労働者の養成の問題を委託した。職工學校、鐵道學校、工場實習學校の生徒は、すべてのソヴェト愛國者と同じく、赤軍に對し有效な援助を與へる熱望に燃えてゐる。モスクワ、レニングラー、トウーラ、チェリヤビンスク、及び其の他の都市の學校

は、各自の製作所に於いて、赤軍、海軍、空軍、運輸の必要とする機械、彈藥、兵器、器具の生産を展開した。彼等は、祖國に對する自己の責務を完全に自覺して、手を休めることなく、國防のために、獻身的努力を續けてゐる。彼等は客貨車、機關車、自動車、戰車の修繕に従事し、石炭、鑛石、石油をスターノフ的に採取してゐる。

チェリヤビンスク州、コベイスク鑛山の第三工場實習學校の生徒達は優秀な成績に達した。學校の生徒キルビチニコフは九月十二日に幹部労働者の基準の一六〇%、九月十四日には一三〇%、九月十五日には一三五〇%を與へた。同じく生徒ボリハエフは系統的に幹部労働者の基準の二〇〇%以上を遂行してゐる。

工場は戰場に於いて生産の實際教育を修得しながら、モスクワ州第四職工學校の生徒達は、戰線の需要のための註文の履行に取り掛つてゐる。彼等は、組織的に労働生産性を向上せしめつゝ、戦前に二ヶ月を要した程の生産を一ヶ月で與へてゐるのだ。

モスクワ州の第三職工學校の生徒達は迅速且つ巧妙に自己の仕事を再組織した。彼等は職長アニイモフ、プリステノフ、等と共に戦前に比較して一倍半の生産を示した。之等の青年は、祖國が對獨戰争のために戦線へ召集した幹部労働者に立派に代つてゐるのである。

戰況は青年労働者の更により良好な、より迅速な養成を必要

とする。學校の各指導者は生産増加の可能性を絶えず探究しなければならぬ。

戰時の條件に於いて、職工學校、鐵道學校及工場實習學校は國家に對し眞面目な援助を示すことができた。しかしそれだけでは到底不十分である。新しい熟練労働者の養成の部門に於けるわれわれの可能性は決して汲み盡されてゐるのではない。

今や學校は對獨祖國戰争の條件に於いて創設第二年度へ入らんとする。偉大にして名譽ある任務が政府によつて職工學校、鐵道學校、工場實習學校の前に課せられてゐる。要員の養成を全體的に迅速化し、職工學校や鐵道學校からの熟練労働者の卒業は、戦前に規定した二ケ年でなく、之を最大限一ケ年に於いて行ふこと——斯くの如きが國家労働準備の養成機關に課せられた任務である。

戰爭はわれわれ總べての者に對し仕事に於ける正確、革命的規律、及び用心を要求する。ところで、生徒、學校の指導者、管理機關のうちには、今日に至るまで、戰爭の日々に提出される要求を必ずしも履行してゐないものが居る。われわれの間には生産教育の組織や規律と正確の部門に於いて尙ほ依然として重大な不備缺陷が存在する。多くの學校では設備の修繕に従ふことをやめ、それが完全に磨損してしまふまで使用してゐる。われわれの仕事に於ける缺陷、非組織性、弛緩は徹底的に除去しなければならぬ。今は、自己の全力を傾注して働かないやうな學校、學生、指導員、管理機關は國家労働準備機構の中に

一つでもあることは許されない。
國家が備置機構の總べての生徒と指導員は、自己の仕事の質を高め、生産教育に於いて尙ほ一層高い指標に到達するため

世界一般

太平洋地域の經濟的發展

ニコラス・マククウィッチ

ダブリュ・ブランドは太平洋地区に於ける一般的な經濟發展の可能性と、特に支那市場に就いて書いてゐる。その陳述の大部分には同意を表すが、本問題の或る一般的な含意について批評してみてもよいであらう。

北大西洋と太平洋地区における經濟的發展を簡単に比較することは非常に難しいことである。若しそれをしてみるとしたら、數多の限定を必要とするのである。彼はその結論中から述べてゐる。「十五世紀末より世界市場の重要中心は地中海より大西洋に移つた。之はその當時は北イタリアの工業化離脱に歸したのである。それまで北イタリアは資本主義的生産の發祥地であつた。二十世紀の最初の十年間に於いて重要中心が大西洋から太平洋に更に移動し始めたことは、もし歴史的な障礙に

に絶えず努力し、國家に對しより多くの生産を興へるところがなくてはならぬ。
(アラウマ紙、一九四一年十月二日)

八〇

遭遇することがなかつたら、極東の國々の工業化に歸着したであつたらうこと。

先づ、十五、六世紀における重要中心の地中海より大西洋への移動は全然「完全な」過程ではなかつたのである。中部ヨーロッパの商業都市(アウグスベルグ、レジンスベルグ、ニュルンベルグ及其他)はアメリカ發見後まではその都市々々の歴史の最も輝かしい時期を享有することがなかつた。北イタリア共和国の重要性はヴェニスとジェノヴァがトルコ人のアラビヤ侵入のために印度貿易に参加することが出来なくなるまでに、なくなり始めて居た。しかしてその過程は幾多の發見によつて強調せられ、促進せられたのである。

第二に、我々は普通大西洋貿易を西印度諸島の發見について重要視してゐる。それは量と價值とに關する限り十九世紀末までは無視されてもよいことであつた。大西洋の起元は實際に

は一八六〇年頃に始まる。それは汽船が海洋を征服し始めた時であつた。商業革命時代に對しては我々は餘りにも廣く、東洋貿易の重要性を看過してゐる。東印度諸島と極東との貿易は或る方面ではアメリカとの貿易より遙に重要なものであつたが南北アメリカより、ポルトガル、英國、スペイン、フランスへ運ばれた金、銀は結局東洋の植民地や國々に行きついたのである。

金、銀はそこで商品に引換へられた。十七世紀の初から十八世紀の終に至るまでには六〇〇億マルク以上の銀が輸入差額のためにアジアに船積されたといふことが見られる。フランスだけは十八世紀末のたゞ一年間に一億七千萬ポンドの輸入超過を來した。

それ故、北大西洋貿易の重要性を強調することをやめ、又西洋の經濟革命に東洋が演じた任務を忘れることとしよう。ざりとて、我々は太平洋地区の發展中に何が起るかについては餘りに早く結論に到達すべきではない。大西洋は遂に開始するまで殆ど四世紀間も待たなければならなかつたのである。太平洋は準備と變化のための同じやうな困難に際會しつゝある。

太平洋の過去十年間に於ける發展を説明する鍵は極東の發展の中のみには見出されない。太平洋の將來は支那市場の「知られざる潛勢力」によるよりも遙かに重要性をもつて東太平洋に於ける英米プロダクトの存在により決定されつゝある。アメリカ合衆國に於いては人口産業活動力の西部移動が尙進行中である。カリフォルニアへの人口集中は近い將來に於ける數多の可能性

を證するものである。

思ふに、太平洋地区は非常に高速度で最近二三十年間に發展して來た。そしていろいろな方面に北大西洋の絕對最高權を挑んで來たといふことが分るだけである。このことに興味をもつ讀者はそれに関する多くの印刷物を見出すであらう。U・P・リリーの「支那に於ける外國投資(一九三三年)」とニコラス・ベルトの「不穩な太平洋(一九二八年)」と太平洋の經濟的發展を最も簡明に記せる入門書である。

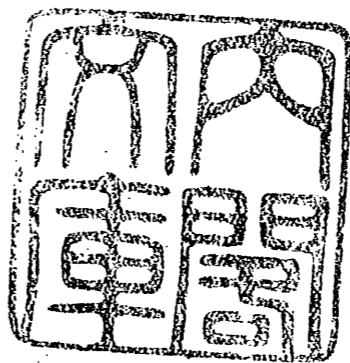
現在支那に起りつゝある戰爭は支那市場の將來の擴張に非常に強く影響を及ぼすであらう。支那の經濟的發展の主な制限力は常に内部支那人の疎慢と孤立とであつた。最近の二三年間に支那の中心は低い揚子江と西江とより西部——雲南、四川、甘肅にうつつた。そこでは眞の産業革命が始まつて居るのである。もし支那が或る程度の政治的獨立を維持するつもりであるならば、この發展は最近の消費標準の上昇にとつて極めて重要なものとなるであらう。

最近十年間に於ける數多の妨害や挫折は政治状態にのみ歸せられなければならない。それ故に、それらを永久的のものとして看做することは難しい。ブランドが書いて居る多くの障礙は、幾分か現在の戰爭と關係してゐるものである。我々はそれ等障礙がヨーロッパに於ても同様に働いてゐるを見る。スペイン、フランス、チエコスロヴァキアはその過程のすべての可能な經濟的、社會的含蓄をもつて農業本位へとどりつゝある。我々

世界一般

八一

が太平洋地区のより以上の擴張を考察するためには經濟的預言
を必要とする。事實、何が起らうとしてゐるかは、この戰爭の
結果、そして特に極東の領土的解決に依存するところ極めて大
である。



昭和十六年十二月二十三日印刷
昭和十六年十二月二十五日發行

企畫院編纂
内閣印刷局印刷發行

販賣所 内閣印刷局發行課

東京市麹町區大手町
電話丸ノ内四三五―三五九
振替東京 一九〇〇〇

全国各地官報販賣所
全国各地主要書店
定價三十錢

教習局 日本精神叢書

番號	書名	執筆	定價
一	歴代の詔勅	河野三三氏	二五
二	聖徳太子と日本文化	花山信三氏	二五
三	神樂と道徳思想	小野正康氏	二五
四	親鸞と日本佛教	久松義一氏	二五
五	日本精神教育論	海後宗臣氏	二五
六	心問答と日本教育論	石川謙氏	二五
七	吉田松陰の留魂録	式田正吉氏	二五
八	萬葉集と忠君愛國	佐成謙太郎氏	二五
九	諸曲と日本精神	佐々井信太郎氏	二五
一〇	庭園と日本精神	佐々井信太郎氏	二五
一一	二宮翁夜話の精神	佐々井信太郎氏	二五
一二	祝詞と國民精神	野上三郎氏	二五
一三	神道大義	野上三郎氏	二五
一四	世阿彌とその藝術思想	金子大英氏	二五
一五	傳教弘法と日本文化	金子大英氏	二五
一六	山鹿素行の配所殘筆	紀平正美氏	二五
一七	徒然草と人生觀	河野三三氏	二五
一八	中臣祇と民族精神	河野三三氏	二五
一九	萬葉集と國民性	河野三三氏	二五
二〇	宮本武藏五輪書と劍道の精神	河野三三氏	二五
二一	聖徳太子の十七條憲法	白井成充氏	二五

番號	書名	執筆	定價
二六	戦記物語と日本精神	高木武氏	二五
二七	嬪元と日本の禪	奥田正秀氏	二五
二八	芭蕉と俳諧の精神	志田義秀氏	二五
二九	風土記と古代日本	次田潤三氏	二五
三〇	日蓮と日本の佛教	小林一三氏	二五
三一	大佛師運慶	丸尾三郎氏	二五
三二	萬葉集と日本精神	丸尾三郎氏	二五
三三	漢詩と日本精神	丸尾三郎氏	二五
三四	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五
三五	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五
三六	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五
三七	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五
三八	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五
三九	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五
四〇	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五
四一	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五
四二	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五
四三	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五
四四	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五
四五	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五
四六	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五
四七	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五
四八	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五
四九	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五
五〇	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五
五一	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五
五二	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五
五三	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五
五四	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五
五五	漢書と日本精神	丸尾三郎氏	二五